全員協議会資料

平成21年度行政評価結果の公表（第１回）について

平成21年８月24日
市　長　公　室

１　公表の趣旨

効率的で効果的な市政の実現を目指すとともに，市政の透明性を高め，その内容を市民によりわかりやすく説明するために取り組んできた行政評価について，平成21年度第１回の評価結果を公表するものである。

２　公表の内容及び方法

(1) 内　容

行政評価システムの概要，事務事業評価結果，施策の達成度評価結果，施策の貢献度評価結果・・・・・別紙のとおり。

(2) 方　法（時期）

① 「ウェブもりおか」掲載　　平成21年９月
② 　市の主要施設への備付け　平成21年９月
③ 　報道機関への資料提供　　平成21年８月

３　今後の予定

(1)　第２回　平成21年11月　施策の優先度評価結果，平成22年度予算重点化施策等の基本方針
(2)　第３回　平成22年２月　事務事業事前評価結果

平成２１年度

行 政 評 価 結 果

評価からはじめるまちづくり

平成21年8月

盛 岡 市

はじめに

市では，効率的で効果的な市政の実現を目指すとともに，市政の透明性を高め，その内容を市民によりわかりやすく説明するための手段として，「行政評価システム」を導入しています。

このシステムは，市が行う行政活動の現状を把握し，目標値を定め，その活動の結果もたらされた成果や市民の満足度について評価を行い，評価結果を次年度以降の市政に反映させていくものです。

多くの市民の皆様にこの行政評価システムをご覧いただき，市の行政活動についてのご理解と，盛岡市政を改革・改善するうえでのご意見をいただきたいと考えています。

なお，市ホームページ「ウェブもりおか」にも掲載しています。
http://www.city.morioka.iwate.jp/17gyoukaku/gyoukaku/ghyouka/index.html

目　次

Ⅰ　行政評価について

1．行政評価とは何か　・・・・・・・・・　1

2．行政評価は何のために行うのか　・・・・・・・　1

3．どのような仕組みか　・・・・・・・・・・・　2

4．評価結果を何に反映させるのか　・・・・・・　2

Ⅱ　平成20年度振り返り結果

1．事務事業の事後評価　・・・・・・・・・・・　4

2．施策の達成度評価　・・・・・・・・・・・・　5

3．施策の貢献度評価　・・・・・・・・・・・・　67

Ⅲ　平成22年度予算編成への反映

1．行政評価システムを活用した予算編成　・・・・・

2．施策の優先度評価　・・・・・・・・・・・・

3．平成22年度に重点的に取り組む施策　・・・

4．事務事業事前評価結果一覧表　・・・・・・・

5．全体計画事業費１億円以上の公共事業一覧表　・・

平成21年11月以降に公表する予定です。

参考資料：施策達成度評価の手順　・・・・・・・・　69

Ⅰ　行政評価について

1　行政評価とは何か

行政評価は，効率的で効果的な市政の実現を目指すとともに，市政の透明性を高め，その内容を市民によりわかりやすく説明するための手段です。

市が行うさまざまな事業を対象に，事業の目的や成果・効果をできるだけ数値化して分かりやすくするとともに，行政として果たすべき役割を踏まえ，事業の必要性や上位の施策及び政策に対する位置付け，あるいは事業環境の変化や事業の特性などについて，総合的な視点から整理・点検し，その結果を総合計画の進行管理，行政改革，予算編成などに活用することによって，効率的で質の高い市政運営を実現することを目指しています。

2 行政評価は何のために行うのか

市の仕事をマネジメント（企画，実施，評価）することによって，

ア　まちづくりの現状と課題を市民にわかりやすく伝えます。

～施策達成度の公表～

施策評価を実施し，その結果を市民に公表することにより，本市のまちづくりの現状と課題を市民にわかりやすく伝えます。

イ　まちづくり課題に優先順位を付けて，限られた資源を有効かつ効率的に使います。

～経営資源の有効活用～

財政状況が厳しい中，限りある資源（税金等の収入，人材，もの）をまちづくり課題の優先順位に沿って有効かつ効率的に使うことにより，より一層の効果を発揮できるようにします。

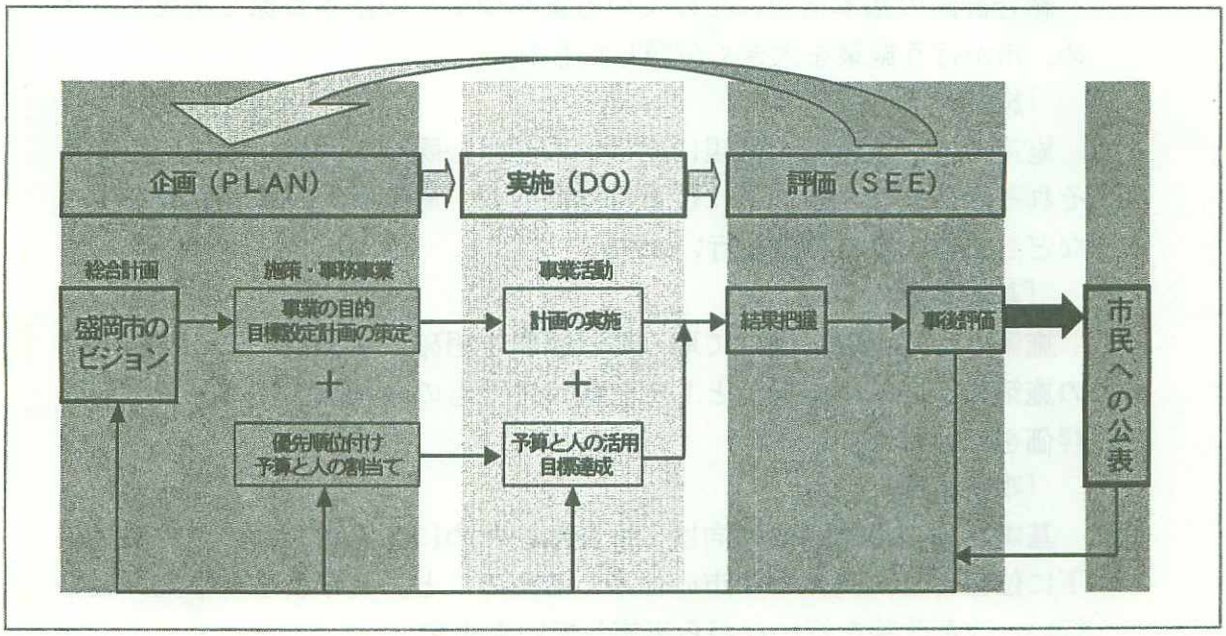
ウ　市の仕事をより価値のあるものへ改革改善し続けます。

～継続的な改革改善と人材開発の実践～

毎年市が行っている仕事を継続的に評価することにより改革改善を行うとともに，振り返りと改革改善を常に繰り返すことによって職員の政策形成能力を高め，より高い市政の運営ができるようにします。

3　どのような仕組みか

企画（ＰＬＡＮ）→実施（ＤＯ）→評価（ＳＥＥ）の循環（マネジメントサイクル）を確立し，市が行う行政活動についてたえず振返りを行うことにより，次年度以降の企画の立案や予算編成に反映させていく仕組みです。



4　評価結果を何に反映させるのか

行政評価の評価結果は，総合計画の進行管理，予算の編成などに反映させていくこととしています。

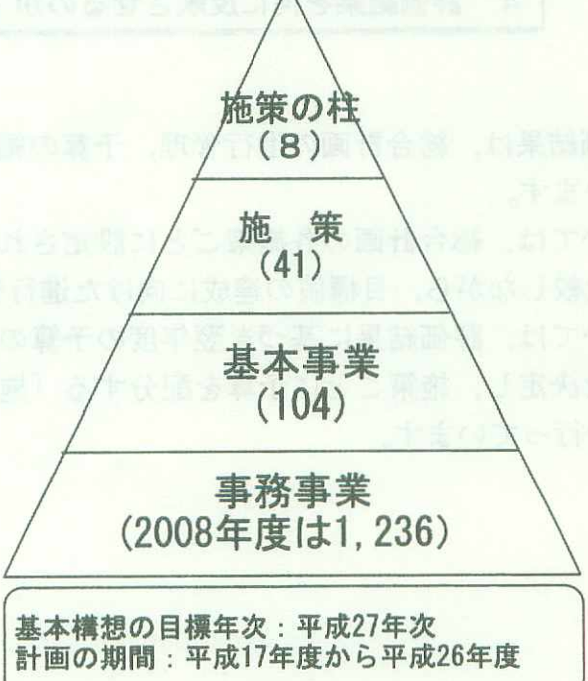
総合計画については，総合計画の各施策ごとに設定されている目標値と毎年度の評価結果を比較しながら，目標値の達成に向けた進行管理をしています。

予算編成については，評価結果に基づき翌年度の予算の重点配分施策，主要施策，一般施策を決定し，施策ごとに予算を配分する「施策別予算配分方式」による予算編成を行っています。

用語の解説

- 「施策の柱」
  総合計画の基本構想に掲げているまちづくりの基本目標を実現するため，市が行う施策を大きく分類したもの。
- 「施策」
  施策の柱（政策）の実現に向けて取り組む課題を明確にするために，それぞれの施策の柱の下に位置付けたもの。施策毎に目標値を設定するなどして達成度の評価を行います。
- 「基本事業」
  施策の目的達成に向けて取り組む課題を明確にするために，それぞれの施策の下に“小施策”として位置付けたもの。施策と同様に達成度の評価を行います。
- 「事務事業」
  基本事業の目的達成に向けて取り組むために，それぞれの基本事業の下に位置付けた具体的な市の仕事・活動のこと。毎年度事務事業評価を行い，改革改善を行いながら実施していきます。

施策の体系



基本構想の目標年次：平成27年次
計画の期間：平成17年度から平成26年度

Ⅱ　平成20年度振り返り結果

1　事務事業の事後評価

事務事業評価では，市が実施している事務事業を，その性質に合わせ分類し，それぞれの分類に合った評価項目，評価手法により評価を実施しています（下表１参照）。

【表１　事務事業の評価分類】

	分類	分類基準
1	一般	下記分類2～5以外の事務事業
2	公の施設	公の施設の管理運営に係る事務事業
3	大規模公共事業	公共施設，道路等の社会資本整備を目的とする事務事業のうち総事業費が1億円以上のもの
4	補助金	市が補助金を支出している事務事業
5	内部管理	・庶務，人事，文書，財務会計などの事務 ・計画の進行管理などの事務

このうち，今回は，「一般」と「内部管理」の事務事業843件について，成果指標の実績値，有効性，効率性，向上余地などの点から評価し，今後の事業運営について，「休・廃止（終了を含む）」，「統廃合」，「改革改善を行う」，「現状維持」いずれかの方向付けを行いました。

評価を実施した事務事業がどのような方向付けをされたか，その割合を示したのが下の表２です。

【表２　平成21年度事務事業評価結果】

		事務事業数	割合（%）
休・廃止（終了を含む）		20	2.4
継　続	統 廃 合	17	2.0
	改革改善	426	50.5
	現状維持	380	45.1
合　計		843	100.0

2　施策の達成度評価

市では，平成 27 年を目標年次とする総合計画において，「人々が集まり・人にやさしい・世界に通ずる元気なまち盛岡」というまちづくりの基本目標を掲げ，8 つの施策の柱（政策）の下で，「まちづくりの課題」である各種の施策を推進しています。

これら施策は 41 に分類されていますが，施策達成度評価は，各施策が目標に対しどの程度推進されたか（成果水準）を評価するものです。

評価は，施策ごとに設定されている成果指標の達成の水準（指標の水準）と各施策の取り組み結果に対する市民の満足度の二つの要素により実施しました。

成果水準　＝　指標の水準　＋　市民満足度

「指標の水準」については，まず，各施策ごとに設定されている目標値と平成 20 年度末の実績値との比較（目標値比較），東北各県県庁所在都市等との比較（近隣比較），過去４ヵ年間の実績との比較（経年比較）の三点から成果指標の水準を評価します。このとき，基本事業に設定されている目標値と平成20年度末の実績値との比較（目標値比較）についても加味しました。

指標の水準　＝　目標値比較　＋　近隣比較　＋　経年比較

「市民満足度」については、市民アンケート調査結果に基づいて，各施策の市民満足度を評価しました。

また，「各施策の成果向上に市が果たす役割の大きさ」を評価しました。これについては、67 ページで説明する施策貢献度評価に反映させています。

評価方法や基準は次のとおりで，各施策の評価結果は9ページ以降に掲載しています（より詳しくお知りになりたい方は，69 ページの「参考資料：施策達成度評価の手順」をご覧ください）。

【評価方法・基準】

＜評価基準＞

◎成果水準　次に述べる「指標の水準」と「市民満足度」の評価結果から，総合的な成果水準を「高い」「やや高い」「標準」「やや低い」「低い」の５段階で評価しています。

○指標の水準　成果指標について，次の①～③の観点からそれぞれ５段階評価を行い，さらにそれらを総合化し，「高い」「やや高い」「標準」「やや低い」「低い」の５段階で評価しています。

①目標値比較
「高い」・・・・・・・目標値を大きく上回った。
「やや高い」・・・目標値を若干上回った。
「概ね達成」・・・概ね目標値のとおりだった。
「やや低い」・・・目標値を若干下回った。
「低い」・・・・・・・目標値を大きく下回った。

②近隣比較
「高い」・・・・・・・近隣他都市等と比べて高い水準である。
「やや高い」・・・近隣他都市等と比べてどちらかと言えば高い水準である。
「中位」・・・・・・・近隣他都市等と比べて中位の水準である。
「やや低い」・・・近隣他都市等と比べてどちらかと言えば低い水準である。
「低い」・・・・・・・近隣他都市等と比べて低い水準である。

※近隣比較は，東北の各県庁所在都市及び中核市との比較を基本としながら，成果指標の特性に応じて，近隣町村との比較を行っています。

③経年比較
「高い」・・・・・・・過去４ヵ年の実績と比べて高い水準にある。
「やや高い」・・・過去４ヵ年の実績と比べてどちらかと言えば高い水準である。
「中位」・・・・・・・過去４ヵ年の実績と比べて中位の水準である。
「やや低い」・・過去４ヵ年の実績と比べてどちらかと言えば低い水準である。
「低い」・・・・・・・過去４ヵ年の実績と比べて低い水準である。

○市民満足度　市では，平成20年度に無作為で抽出した市民3,000人を対象に市民アンケート調査を実施しましたが，この中で，総合計画に掲げる41施策に関して，どのように感じているかを「満足」「やや満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」の５段階でたずねました。

市民満足度は，各施策に対して「満足」「やや満足」「不満」「やや不満」と答えた市民の数を得点化し，その結果をもとに市民の満足度を５段階で評価しました。

「高い」・・・・・・・市民の満足度は高い水準である。
「やや高い」・・・・市民の満足度はどちらかと言えば高い水準である。
「中位」・・・・・・・・市民の満足度は中位の水準である。
「やや低い」・・・・市民の満足度はどちらかと言えば低い水準である。
「低い」・・・・・・・市民の満足度は低い水準である。

【その他の解説】

○市の役割・・・施策の成果を向上させるために，市が果たす役割の大きさがどれくらいあるかを，施策の実態に基づき，次の４段階で評価しました。

「大きい」・・・・・・・市がほぼ単独で取り組んできた。
「やや大きい」・・・市が市民や事業所，国や県をリードしてきた。
「やや小さい」・・・・・中心になって取り組んできたのは市民や事業所，国や県であり，市は支援や周辺範囲に留まった。
「小さい」・・・・・・・・・取り組みのほとんどは市民や事業所，国や県であり，市の役割は限定的であった。

○成果指標・・・施策の意図（どのような状態を目指すのか）を客観的な数値で表したものです。平成20年度の目標値と実績値を掲載しています。目標達成度を評価するにあたっての判断材料となります。

指標名の末尾にある記号のうち（↗）は，数値を上げていくことを目標とするもの，（↘）は，数値を下げていくことを目標とするもの，（→）は、現状を維持していくことを目標とするものです。

○基本事業・・・施策の目的達成に向けて取り組む課題を明確にするために，それぞれの施策の下に“小施策”として位置付けたものです。施策と同様に成果指標を掲載しています。

○事務事業・・・基本事業の目的達成に向けて取り組むために，それぞれの基本事業の下に位置付けた具体的な市の仕事・活動です。表中には，基本事業に貼り付く事務事業数と評価の結果から決定された今後の方向性（「休・廃止」「統廃合」「改革改善」「現状維持」）ごとの事務事業数を掲載しています。

表の見方

総合計画の「施策の柱」の通し番号です

施策の柱 1　いきいきとして…

1-1　健やかに暮らせる健康づくりの推進

「施策の柱」ごとの「施策」の通し番号です

【取組…】

…内臓脂肪症候群やがん等が疑われる早期の段階から、改善や治療に取り組めるよう、各種…教育・健康相談など…に努めた。

「指標の水準」と「市民満足度」を総合化し５段階で評価

各施策の成果向上に市が果たす役割の大きさを４段階で評価

成果水準	やや高い	市の役割	やや大きい

指標の水準	標準	市民満足度	高い

「目標値比較」「近隣比較」「経年比較」を総合化し５段階で評価

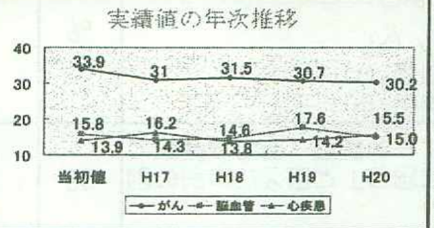
目標値比較	近隣比較	経年比較
概ね達成	中位	中位

目標値に対する実績を５段階で評価

東北県庁所在都市等の実績値を比較し５段階で評価

過去４ヶ年の実績値の推移を５段階で評価

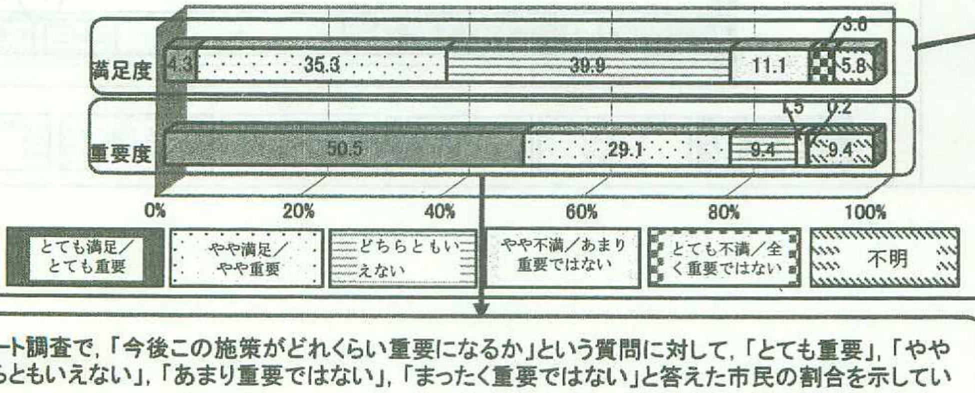
市民アンケート調査で、各施策に対して「とても満足」「やや満足」「不満」「やや不満」と答えた市民の数を得点化し、その結果をもとに市民の満足度を５段階で評価

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
生活習慣病３大死因（全死因に対する割合）				
①がん（↘） ②脳血管（↘） ③心疾患（↘）	%	32.5 14.7 12.8	30.2 15.0 15.5	
アンケート調査「自分が健康であると思う」と答えた市民の割合（↗）	%	53.0	48.9	調査は５年に１回実施するものであることから、実績値の年次推移は掲載していません。

（↗）は、数値を上げていくことを、（↘）は、数値を下げていくことを、（→）は、現状を維持していくことを目標とするものです。

基本事業	成果指標	単位	H20目標	H20実績
健康の保持増進	…	人	18,700	14,424
	…全給検査…率（↗）	%	—	8.9
保健予防の推進	乳幼児予防接種の接種者の割合（↗）	%	88.9	88.9
	高齢者予防接種の接種割合（↗）	%	54.5	54.1
生活衛生対策の推進	立入検査の計画に対する実施率（→）	%	100	100

市民満足度・重要度



市民アンケート調査で、「今後この施策がどれくらい重要になるか」という質問に対して、「とても重要」、「やや重要」、「どちらともいえない」、「あまり重要ではない」、「まったく重要ではない」と答えた市民の割合を示しています

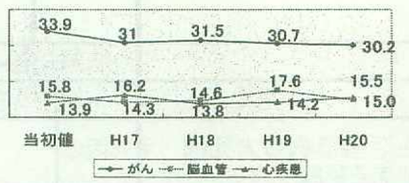
1-1　健やかに暮らせる健康づくりの推進

【取組内容と成果】

生活習慣に起因する内臓脂肪症候群やがん等が疑われる早期の段階から，改善や治療に取り組めるよう，各種健診の受診勧奨，健康教育・健康相談など身近な地域での保健活動に努めた。

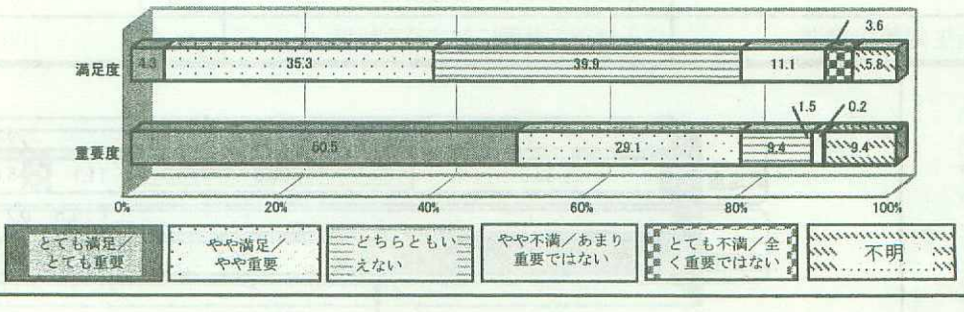
成果水準	やや高い	市の役割	やや大きい
指標の水準	標準	市民満足度	高い

目標値比較	近隣比較	経年比較
概ね達成	中位	中位

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
生活習慣病３大死因（全死因に対する割合） ①がん（↘） ②脳血管（↘） ③心疾患（↘）	%	32.5 14.7 12.8	30.2 15.0 15.5	
アンケート調査「自分が健康であると思う」と答えた市民の割合（↗）	%	53.0	48.9	調査は５年に１回実施するものであることから，実績値の年次推移は掲載していません。

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
健康の保持増進	健康教育・相談者数（↗）	人	18,700	14,424
保健予防の推進	全結核罹患率（↘）	%	－	8.9
	乳幼児予防接種の接種者の割合（↗）	%	88.9	88.9
	高齢者予防接種の接種割合（↗）	%	54.5	54.1
生活衛生対策の推進	立入検査の計画に対する実施率（→）	%	100	100

市民満足度・重要度



1-2　地域をリードする医療体制の確立

成果水準	やや高い	市の役割	やや大きい
指標の水準	やや高い	市民満足度	やや高い

目標値比較	近隣比較	経年比較
概ね達成	－	高い

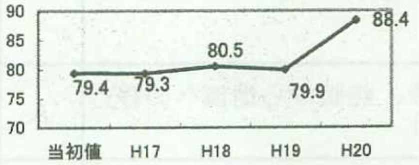
【取組内容と成果】

市広報や医師会ホームページなどで夜間急患診療所や休日当番医，二次救急医療機関等の周知により，医療機関の持つ機能をより明確にするとともに，かかりつけ医の必要性も啓発するなど，適切な役割分担と連携による切れ目のない医療提供体制の構築に努めた。

また，夜間急患診療所での投薬の安全性を高め，適切な服薬指導を行うため，薬剤師会の協力を得て薬剤師を配置した。

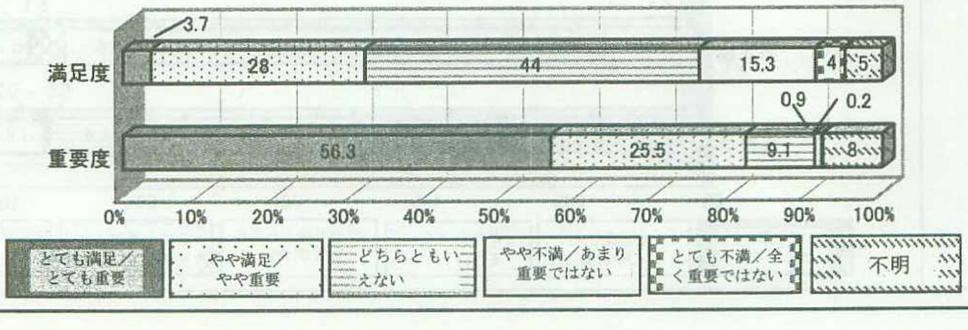
市立病院は，平成19年4月から地方公営企業法の全部適用を行うとともに，平成18年度に策定した市立病院経営改善計画に基づき経営改善に努めているところである。入院，外来双方で患者数，診療収入とも前年を上回ったが，退職医師の補充ができていないことや昨今の医療制度の改正に伴い，目標とした医業収益の確保ができなかったものである。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
アンケート調査「いつでも受診できる医療機関がある」と答えた市民の割合（↗）	%	83.0	88.4	



基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
医療機関との連携強化	アンケート調査「かかりつけ医がいる」と答えた市民の割合（↗）	%	63.0	51.6
市立病院の健全経営	医業収益（一般会計負担金を除く。）（↗）	千円	2,930,616	2,697,383
	純損益（↗）	千円	△ 119,696	△ 169,142
	経常収支比率（↗）	%	95.1	91.4
救急体制の充実	救急自動車の平均到着時間（→）	分	5.9	6.3

市民満足度・重要度



1-3　共に歩む障がい者福祉の実現

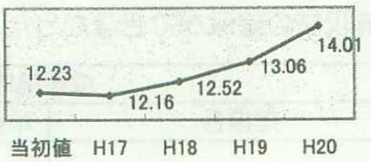
【取組内容と成果】

障害者自立支援法が施行されて３年目となり，国ではこれまで特別対策や緊急措置により制度の定着や部分的な見直しを進めてきた。市においても障がい者の地域移行や就労が促進されるよう福祉サービスの安定した展開を図るとともに，障がい者をとりまく状況の変化や新しい法体系に対応できるよう，「盛岡市障がい者福祉計画」及び「盛岡市障がい福祉実施計画」の見直しを行った。

成果水準	標準	市の役割	やや大きい

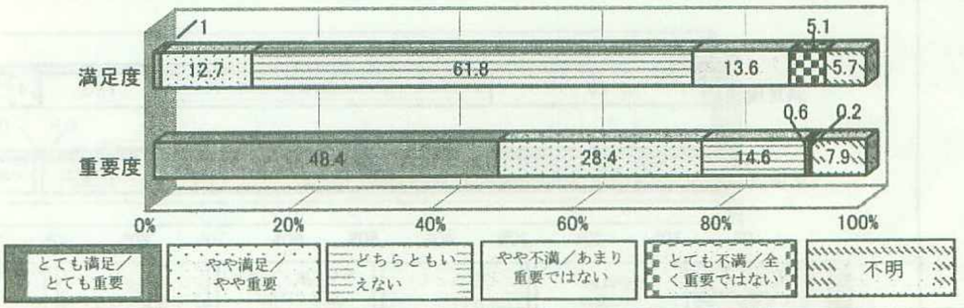
指標の水準	やや高い	市民満足度	やや低い

目標値比較	近隣比較	経年比較
概ね達成	―	高い

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
障害福祉サービス受給者数/障害者手帳所持者数（身体・療育・精神）（↗）	%	13.17	14.01	
施設、病院から地域への移行（↗）	人	―	24	あらたに設定した指標であるため，年次推移のグラフは掲載していません。
施設から一般就労への移行（↗）	人	―	9	あらたに設定した指標であるため，年次推移のグラフは掲載していません。

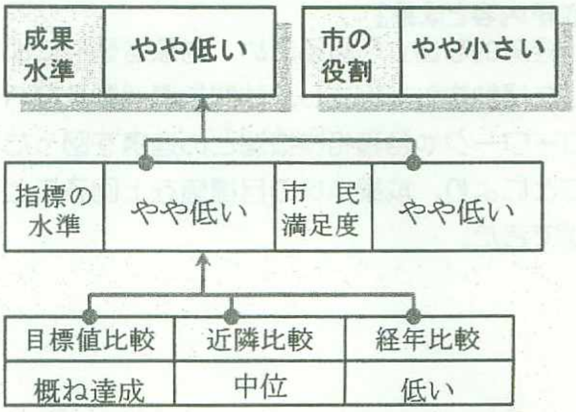
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
理解と交流の促進	アンケート調査「障害者に対する市民の理解が進んだ」と答えた市民の割合（↗）	%	―	38
	障害者アンケート調査「障害者に対する市民の理解が進んだ」と答えた市民の割合（↗）	%	―	64
障害者福祉サービスの充実	障害者アンケート調査「就労している障害者割合（↗）	%	―	34

市民満足度・重要度



1-4　高齢社会に適応した高齢者福祉の充実

【取組内容と成果】

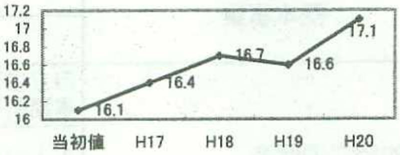


①　市内７箇所の地域包括支援センターと12個所の介護支援センターが地域の身近な相談窓口として，介護予防や相談事業，手続きの代行業務等を行った。また，包括的継続的支援事業として，地域ケア会議の予防部会とサービス部会を開催し，地域福祉推進会や民生委員等の参加者の情報交換を通じて相互に理解を深めるなど地域におけるケア体制の構築の中核的役割を果たし，事業の共同開催につなげたり，関係機関のネットワーク形成を図った。

②　老人福祉センターで各種生きがい活動の事業展開を行ったほか，シルバーメイト事業などを市社会福祉協議会や地区福祉推進会などと共同で実施し，地域福祉の向上を図った。

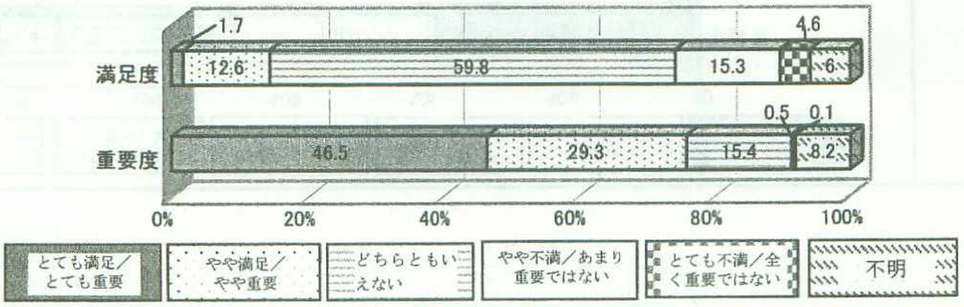
＜成果を得られた要因＞

介護予防事業として，地域福祉推進会等の協力を得ながら，転倒予防教室やいきいき健康回復教室，配食サービスなどの在宅福祉サービスを実施したことが要因と考えられる。また，各地域包括支援センターが開催した地域ケア会議において，民生委員や地区福祉推進会役員等の市民が参加して情報交換を行ったこと，共同開催方式で行ったことなども一因であると考えられる。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
介護保険認定者数／65歳以上人口（↘）	%	15.4	17.1	
アンケート調査「生きがいを持って暮らしている」と答えた高齢者の割合（↗）	%	―	61.2	あらたに設定した指標であるため，年次推移のグラフは掲載していません。

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
高齢者の社会参加の促進	生きがい活動をしている高齢者数（↗）	人	319,393	281,566
	シルバー人材センター登録率（↗）	%	1.1	1.2
高齢者福祉サービスの充実	相談などを受けている高齢者数（↗）	人	25,000	20,211
	介護予防事業参加者数（↗）	人	2,944	278
	介護保険サービス利用者数（↗）	人	6,496	8,420

市民満足度・重要度



1-5　暮らしを支える制度の充実と自立支援

【取組内容と成果】

経済的な自立を図るため，対象者個々に即した援助方針を樹立し，訪問指導活動及びハローワークや各種相談機関との連携を図ったことにより，成果指標の目標値を上回ることができた。

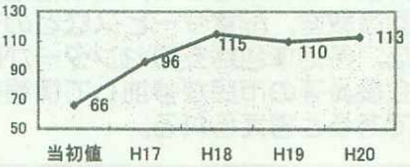
成果水準	標準	市の役割	大きい
指標の水準	やや高い	市民満足度	やや低い

目標値比較	近隣比較	経年比較
高い	－	やや高い

成果指標

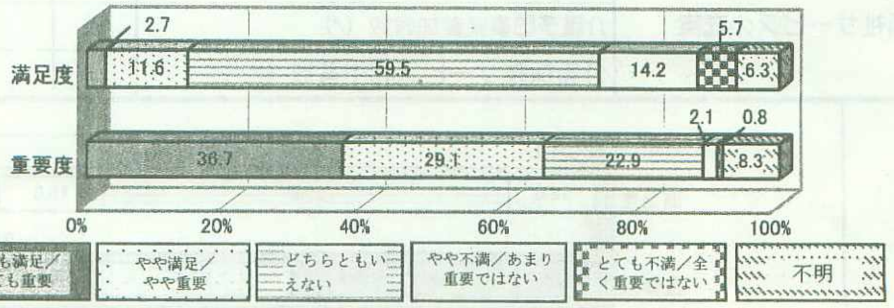
指標名	単位	H20目標	H20実績
自立世帯数(保護廃止のうち死亡・他福祉事務所への移管・失踪等を除く)（↗）	世帯	88	113

実績値の年次推移



基本事業	成果指標：指標名	単位	H20目標	H20実績
経済的自立の促進	自立世帯数（保護廃止のうち死亡・他福祉事務所への移管・失踪等を除く）（↗）	世帯	88	113
	１人当たり平均年間受診件数（→）	件	14.9	11.8
	市営住宅における高齢者仕様住戸率（↗）	%	29.7	30.7
国保制度の健全運営	保険者負担額（→）	千円	16,855,899	16,667,445
	１人当たり療養諸費費用額（↘）	円	295,200	305,297
	現年度収納率（↗）	%	85.00	84.64
	実質単年度収支額（↗）	千円	0	667,316

市民満足度・重要度



1-6　みんなで支える子育て支援の展開

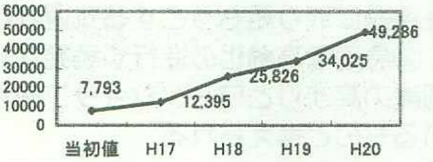
【取組内容と成果】

保育環境の充実を図るため，保育所定員を拡大したが，３歳未満児を中心に待機児童が発生し，解消には至らなかった。

また，育児不安の解消を図るため，つどいの広場事業では中心商店街でのイベントの開催などを通じ周知を図ったほか，地域子育て支援事業では，遊びの広場事業の実施回数の拡大や小規模型指定施設のセンター型施設への移行などにより，利用者の大幅な増加につながった。また，社会全体で子育てを支援する新たな取組として「子育て応援パスポート事業」に取組んだ。

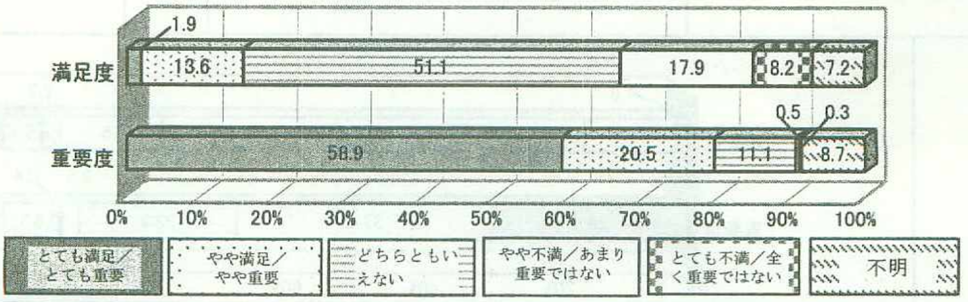
成果水準	やや高い	市の役割	やや大きい
指標の水準	高い	市民満足度	やや低い

目標値比較	近隣比較	経年比較
高い	－	高い

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
子育て支援サービス利用者数（↗）	世帯	30,906	49,286	
アンケート調査「子育てに悩んでいる・不安を持っている」と答えた子どものいる親の割合（↘）	%	－	36.1	調査は５年に１回実施するものであることから，実績値の年次推移は掲載していません。
アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた子どものいる親の割合（↗）	%	－	16.2	あらたに設定した指標であるため，年次推移のグラフは掲載していません。

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
保育環境の充実	待機児童数（↘）	人	35	29
育児不安の軽減	アンケート調査「子育てに悩んでいる・不安を持っている」と答えた子どものいる親の割合（↘）	%	－	36.1
母子保健・予防の推進	3歳児健康診査受診率（↗）	%	93.8	97.8
	妊婦健康診査受診率（↗）	%	93.0	93.8

市民満足度・重要度



1-7　ふれあい広がる地域福祉の実現

【取組内容と成果】

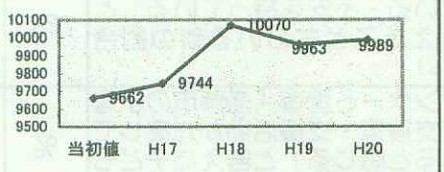
成果水準	標準	市の役割	やや小さい
指標の水準	やや高い	市民満足度	やや低い

目標値比較	近隣比較	経年比較
概ね達成	高い	やや高い

①平成19年度に引き続き，地域福祉を推進するための「地域福祉ワークショップ」を地区福祉推進会及び市社会福祉協議会と共同で開催した（19年度：19地区・20年度13地区　計32地区）。この中で，市内全地区の福祉課題が掘り起こされ，課題解決に向けた地域での取り組みについて，多くの意見が提起された。また，全地区の開催結果と課題解決への取組例をまとめ，各地区福祉推進会に報告し，地域住民と市や市社会福祉協議会等の協働による具体的な地域福祉推進の取り組みを促した。

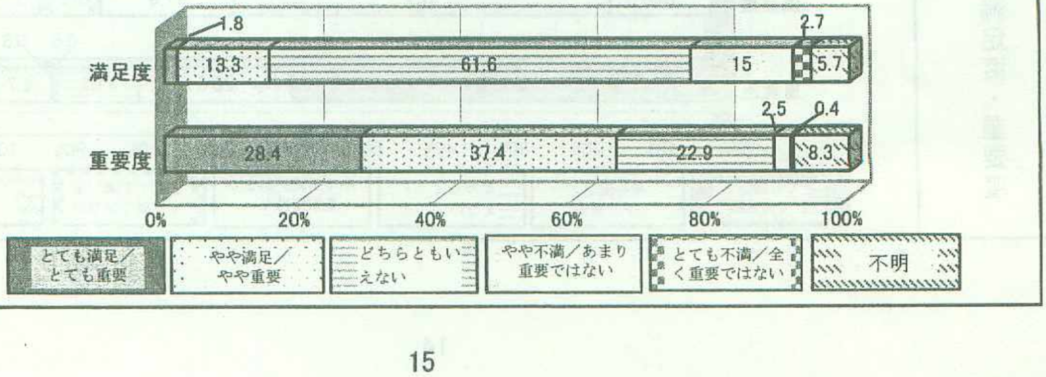
このことにより，地域での一人暮らし高齢者等に対するボランティア活動や災害時の要援護者支援のマップづくり等への取り組みを始めた地区などもあり，地域住民自らが地域の福祉課題に取り組もうとする気運が醸成されている。

②急速な高齢化の進行や続発する地震等による災害への不安，備えに対する自助・共助の認識の高まりとワークショップ等を通じた地域福祉推進の重要性が地域住民に浸透してきているものと考えられる。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
盛岡市社会福祉協議会ボランティア登録者数（↗）	人	10,000	9,989	
市や盛岡市社会福祉協議会に登録している福祉活動を行うＮＰＯやボランティア団体数（↗）	団体	115	112	あらたに設定した指標であるため，年次推移のグラフは掲載していません。
アンケート調査「身の回りでボランティア活動が行われていると感じる」と答えた市民の割合（↗）	％	－	24.9	あらたに設定した指標であるため，年次推移のグラフは掲載していません。

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
地域福祉の充実	アンケート調査「ボランティア活動をしたことがある」と答えた市民の割合（↗）	％	29.5	38.3

市民満足度・重要度



2－1　自然災害対策の推進

成果水準	標準

市の役割	やや大きい

指標の水準	標準	市民満足度	標準

目標値比較	近隣比較	経年比較
概ね達成	－	やや高い

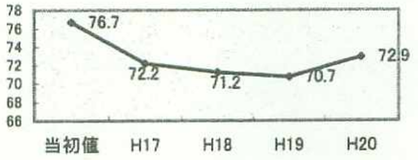
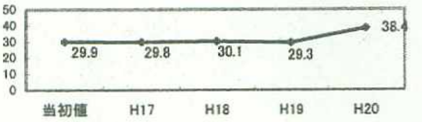
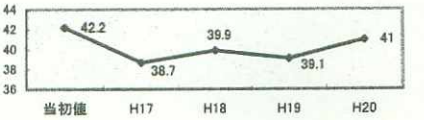
【取組内容と成果】

盛岡地域の浸水区域見直し及び玉山区に係る浸水想定区域の設定を踏まえて，19年度に洪水ハザードマップを見直し，20年度に全戸配布を行い洪水の危険性や迅速な避難行動の普及啓発に努めた。

盛岡市における自主防災組織の結成率は低い状況にあり，市民協働の防災体制づくりを目指し，町内会やコミュニティを中心とした全市的な「自主防災組織」の結成に取り組んだ。

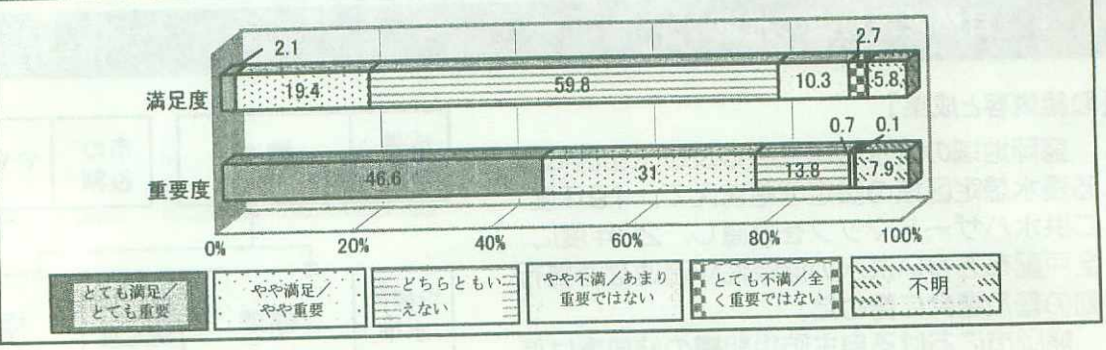
また，地震や水害等の自然災害に備え，被害が最小限になるように斜面等の危険解消対策や河川の改修工事を進めた。

なお，県内を震源とする二度の大規模な地震の発生により，防災意識の向上が図られ成果指標の数値が上がったものと思われる。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
市民アンケート調査「避難場所を知っている」と答えた市民の割合（↗）	%	78.5	72.9	
市民アンケート調査「防災対策をしている」と答えた市民の割合（↗）	%	32.5	38.4	
市民アンケート調査「防災訓練に参加する」と答えた市民の割合（↗）	%	44.5	41.0	

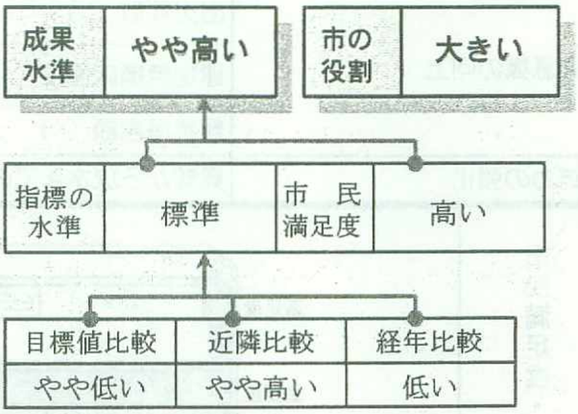
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
危険箇所の解消	土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域の指定箇所数／急傾斜地崩壊危険箇所数及び土石流危険渓流箇所（↗）	%	75	34
防災体制の強化	市民アンケート調査「避難場所を知っている」と答えた市民の割合（↗）	%	78.5	72.9
	市民アンケート調査「防災対策をしている」と答えた市民の割合（↗）	%	32.5	38.4
	市民アンケート調査「防災訓練に参加する」と答えた市民の割合（↗）	%	44.5	41.0
	町内会・コミュニティーの自主防災組織率（↗）	%	24.0	54.8

市民満足度・重要度


満足度
重要度
2.1
19.4
59.8
10.3
2.7
5.8
46.6
31
13.8
0.7
0.1
7.9
0%
20%
40%
60%
80%
100%
とても満足／とても重要
やや満足／やや重要
どちらともいえない
やや不満／あまり重要ではない
とても不満／全く重要ではない
不明

2－2　火災に強い消防体制の構築

【取組内容と成果】

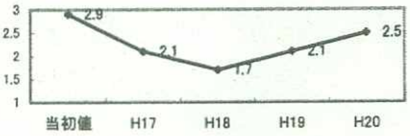
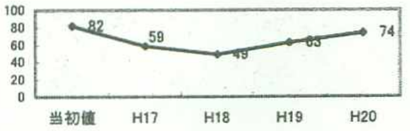
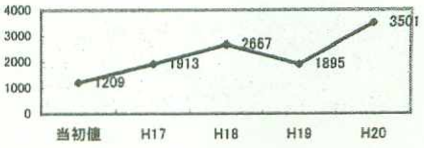
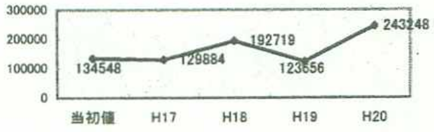


成果指標からは，一定の成果が得られた。しかし，近年は国内外で地震や風水害等による大規模災害が頻発しており，本県においても20年6月の「岩手・宮城内陸地震」，7月の「岩手県沿岸北部地震」により当市では大きな被害の発生は無かったものの，各地で住民生活に影響を及ぼす甚大な被害が発生したことから，市民の常備，非常備の消防に対する期待が一段と高まっている。また，消防団員の処遇改善や消防用備品・装備品等の充実を議会等から要望されている。

このため，消防団員の資質向上や消防用備品・装備品等の充実，防災の拠点施設としての地区コミュニティ消防センターの整備等を計画的に実施した。

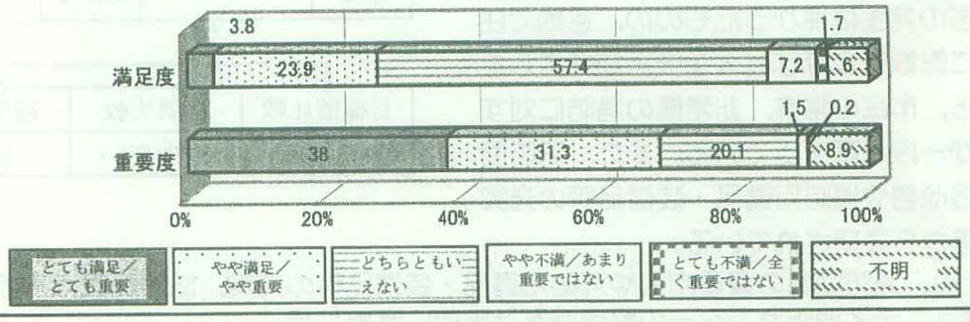
市民の生命，身体及び財産を火災等の災害から守るため，消防ポンプ自動車等の購入や防火水槽の整備を行うための経費について，盛岡地区広域行政事務組合に負担金を支出し，消防力の整備指針にあった常備消防の整備を進めた。

また，市民協働の防災まちづくりに向け，住民の防火意識の高揚や自主防災組織の結成促進（結成率　19年42.8%・20年54.8%），婦人防火クラブ及び婦人消防協力隊の活動支援等を行った。

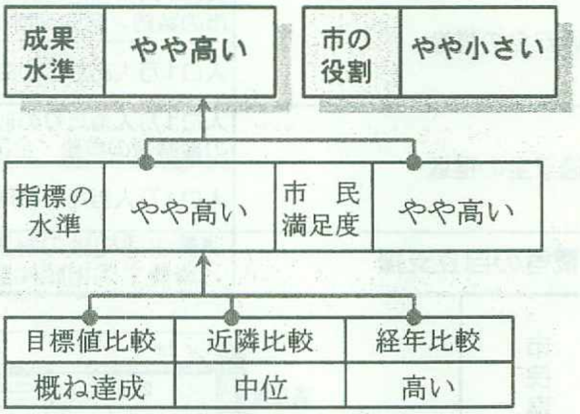
成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
人口1万人あたりの火災発生件数（↘）	件	2.8	2.5	
出火件数（↘）	件	80	74	
建物焼損床面積（↘）	㎡	1,000	3,501	
類焼損害額（↘）	千円	100,000	243,248	

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
防火意識の向上	出火件数（↘）	件	80	74
	建物焼損床面積（↘）	㎡	1,000	3,501
	類焼損害額（↘）	千円	100,000	243,248
消防力の強化	覚知から放水までの平均所要時間（↘）	分	7.4	7.0

市民満足度・重要度



２－３　市民生活を守る安全対策の充実

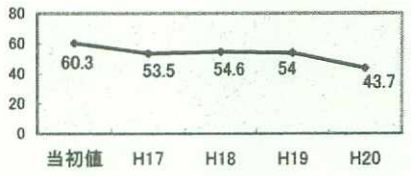
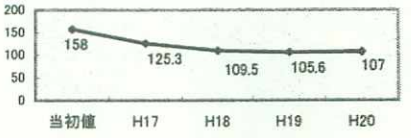
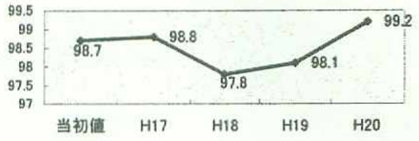


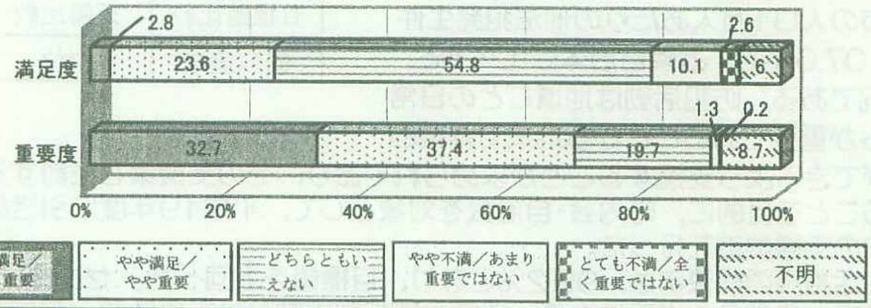
【取組内容と成果】

・盛岡市の人口１万人あたりの交通事故発生件数は，43.7件で，近隣自治体と比較して低い状況となっている。高齢者が交通事故被害者や加害者となる割合が年々高まっていることから，高齢者向けの交通安全教室の開催や，警察署・自動車教習所と連携し，高齢者を対象に自動車運転技能講習会を実施したことなどが効果をあげたと評価できる。

・盛岡市の人口１万人あたりの刑法犯発生件数は，107.0件で，近隣自治体に比べると高い状況である。防犯活動は地域ごとの日常の取組みが重要であることから地域で継続的な活動ができるよう支援することが求められており，その支援策を検討するための基礎資料を得ることを目的に，町内会･自治会を対象として，平成19年度に引き続き，全市的な防犯活動の実態調査を行った。

・消費生活相談の解決率は，99.2％となり，目標値を上回った。センターの移転による相談室の拡充，相談員の増員により，消費生活相談内容の分析や助言，斡旋などにきめ細やかな対応を行うとともに，出前講座など消費者教育啓発活動を連続して講じた結果と考えられる。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
人口1万人あたりの交通事故発生件数（↘）	件	54.0	43.7	
人口1万人あたりの刑法犯発生件数（↘）	件	105.6	107.0	
消費生活相談の解決率：解決した件数／消費生活相談件数（↗）	％	98.0	99.2	

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
交通安全の推進	人口1万人当たりの交通事故発生件数：当市の数値／全国平均（↘）	％	83.2	72.8
	人口1万人あたりの交通事故発生件数（↘）	件	54.0	43.7
交通安全の推進	人口1万人当たりの刑法犯発生件数：市内の警察署の数値／全国平均（↘）	％	75.0	75.1
	人口1万人当たりの刑法犯発生件数（↘）	件	105.6	107.0
消費者の自立支援	消費生活相談の解決率：解決した件数／消費生活相談件数（↗）	％	98.0	99.2
市民満足度・重要度				

３－１　元気な地域コミュニティ活動の推進

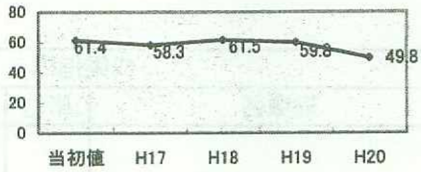
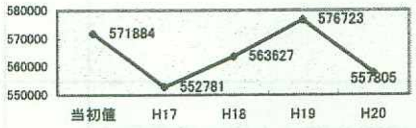
【取組内容と成果】

・成果指標の「コミュニティ活動の延べ参加者数」は，目標値及び前年度を下回っている。コミュニティ活動参加者数は前年度を上回っているが，コミュニティ施設の利用者数が，前年度を下回ったためである。

・コミュニティ活動においてコミュニティリーダーの役割は重要であることから，コミュニティリーダーを対象に地域におけるコミュニティ活動の重要性について研修会を開催した。また，コミュニティ活動の参考としていただくため各地区で実践されている活動を紹介する情報誌を発行した。

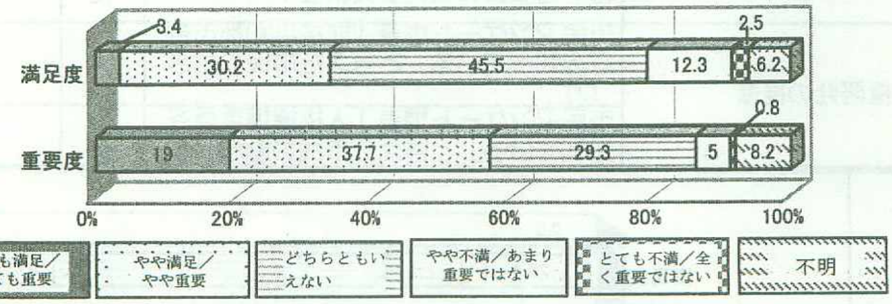
成果水準	標準	市の役割	やや小さい
指標の水準	やや低い	市民満足度	やや高い

目標値比較	近隣比較	経年比較
概ね達成	－	低い

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
市民アンケート調査「地域のコミュニティ活動に参加したことがある」と答えた市民の割合（↗）	％	50.0	49.8	
コミュニティ活動の延べ参加者数（↗）	人	567,000	557,805	

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
コミュニティ活動の促進	コミュニティ活動参加者数（↗）	人	87,000	62,837
コミュニティ活動のための施設活用	コミュニティ施設の利用者数（↗）	人	480,000	494,968

市民満足度・重要度



3－2　人権を尊重する地域社会の形成

【取組内容と成果】

成果水準	やや低い	市の役割	やや小さい
指標の水準	やや低い	市民満足度	標準

目標値比較	近隣比較	経年比較
概ね達成	ー	やや低い

<取組内容>

ア　男女共同参画意識の高揚と活動支援について
　情報紙の発行，研修案内

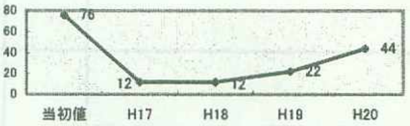
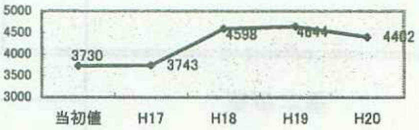
イ　平和・人権啓発の推進について
　非核平和パネル展の実施・プレートの設置・横断幕の掲示，中学生の広島市派遣，戦没者追悼式の実施，盛岡人権擁護委員協議会への支援

<成果>

人権相談件数（人権擁護委員人権相談，女性センター女性相談，児童福祉課母子相談）としては減少したが，女性及び母子件数が増えたこと。

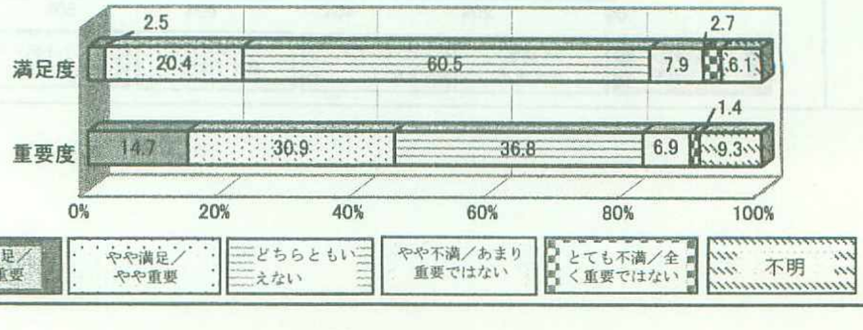
<成果を得られた要因>

相対的に人権擁護委員への相談が減少したが，女性相談，児童虐待相談，ドメスティック・バイオレンス相談など各種機関による相談窓口が増加したこと。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
人権侵犯事件数（法務局）（↘）	件	71	44	
人権相談件数（人権擁護委員人権相談，女性センター女性相談，児童福祉課母子相談）（↗）	件	3,780	4,402	

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
男女共同参画意識の高揚と活動支援	各種審議会の女性委員就任率（↗）	%	28.0	28.2
平和・人権啓発の推進	市民アンケート調査「非核平和都市宣言を知っている」と答えた市民の割合（↗）	%	47.6	39.9
	市民アンケート調査「人権擁護委員を知っている」と答えた市民の割合（↗）	%	35.2	27.4

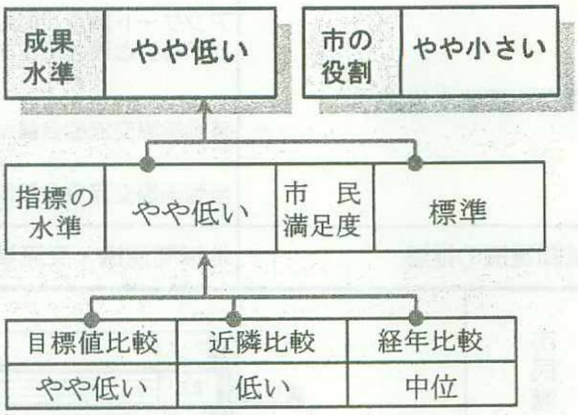
市民満足度・重要度

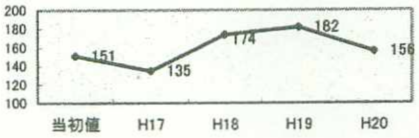
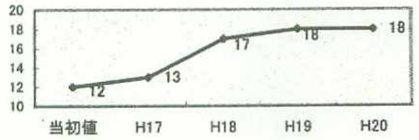
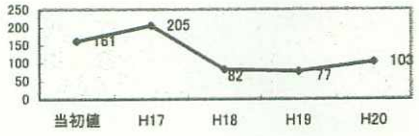


３－３　多様な国際交流・地域間交流の推進

【取組内容と成果】

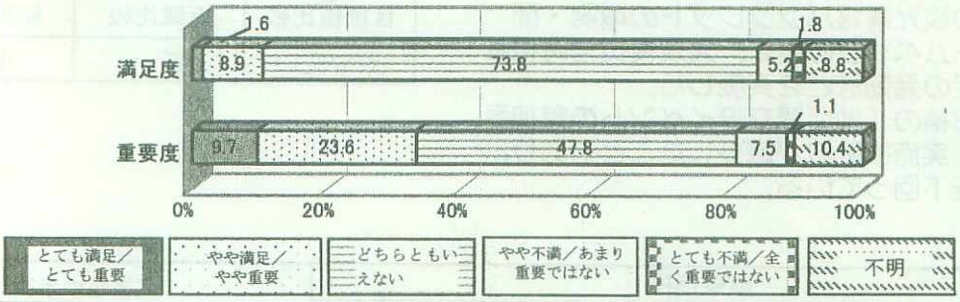
・（財）盛岡国際交流協会の事業について，積極的にマスメディアに取り上げてもらい，協会事業の周知を図った。
・盛岡市国際化指針を基本にした盛岡国際交流協会中期計画で，事務事業評価制度を導入し，事業効果を検証しながら見直しを行って，翌年度に効率的な事業を展開することとした。
・秋田岩手地域連携軸推進事業では，構成８市町村の観光情報パンフレットの増刷・配布，ホームページの更新，大規模災害時相互援助協定の発効などを実施した。
・成果指標の「地域間交流イベントの参加者数」は、実施事業数が減少したこともあり，目標値を下回っている。



成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
アンケート調査「国際交流に参加したことがある」と答えた市民の割合（↗）	%	－	－	調査は５年に１回実施するものであり，平成20年度は調査を実施しない年度であることから，記載していません。
盛岡国際交流協会賛助会員数（個人）（↗）	人	190	156	
盛岡国際交流協会賛助会員数（団体）（↗）	団体	14	18	
地域間交流イベントの参加者数（↗）	人	173	103	

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
国際交流事業の推進	アンケート調査「国際交流に参加したことがある」と答えた市民の割合（↗）	%	調査は5年に1回実施するものであり、平成20年度は調査を実施しない年度であることから，記載していません。	
	盛岡国際交流協会賛助会員数（個人）（↗）	人	190	156
	盛岡国際交流協会賛助会員数（団体）（↗）	団体	14	18
地域間連携の推進	地域間連携・交流事業の数（↗）	件	13	10

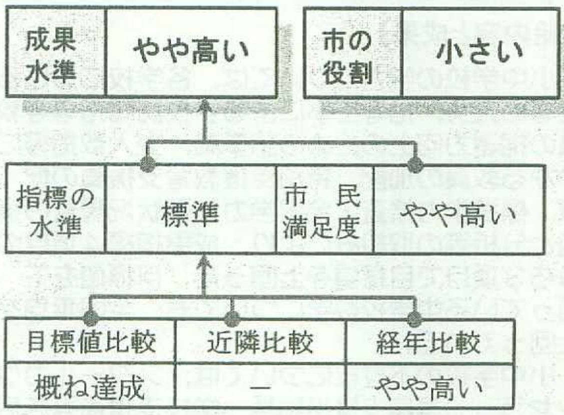
市民満足度・重要度

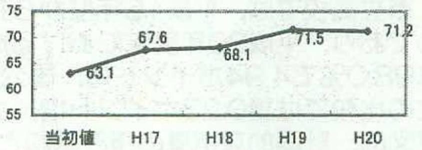
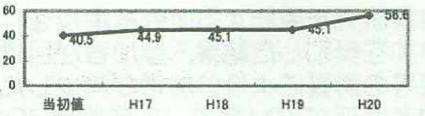


3-4　快適な情報ネットワークの実現

【取組内容と成果】

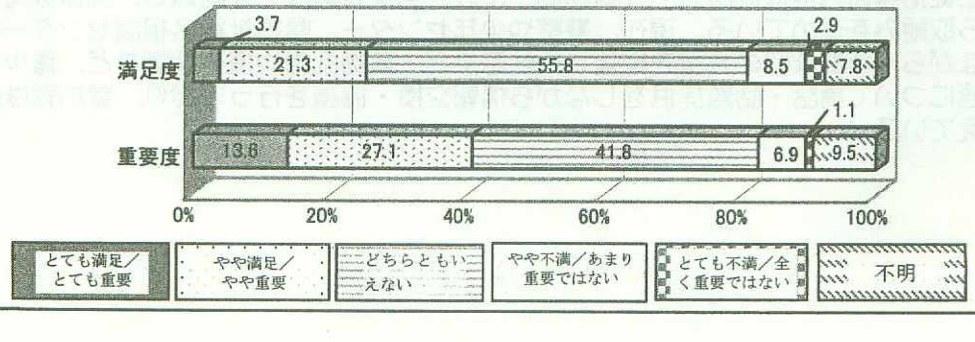
均衡ある情報通信基盤の整備のため，携帯電話については玉山区姫神地区に鉄塔を整備して，不感地域の解消を進めたほか，光ファイバーやADSLなどのブロードバンド未提供地域における整備については通信事業者への整備の働きかけにより，玉山区の好摩·渋民地区に光ファイバー，玉山出張所周辺にはADSLが整備された。また，引き続き公民館等公共施設におけるインターネット公共端末の利用サービスを行ったほか，もりおか地域SNSにより市民のオンライン上の情報交流を支援した。



成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
市民アンケート調査「携帯電話を利用している」と答えた市民の割合（↗）	%	70.0	71.2	
市民アンケート調査「家庭でインターネットを利用している」と答えた市民の割合（↗）	%	48.0	56.6	

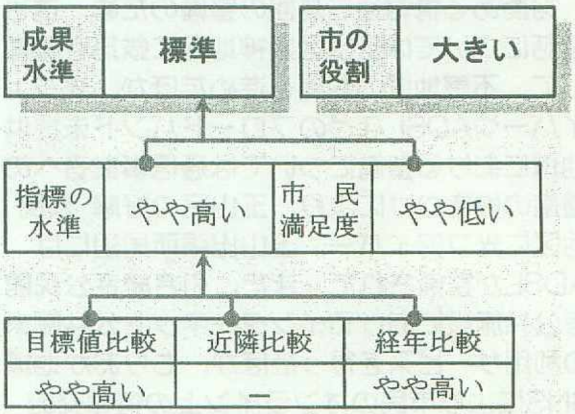
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
情報通信機能の整備	市民アンケート調査「携帯電話を利用している」と答えた市民の割合（↗）	%	70.0	71.2
	市民アンケート調査「家庭でインターネットを利用している」と答えた市民の割合（↗）	%	48.0	56.6

市民満足度・重要度



４－１　将来を担う次世代の育成

【取組内容と成果】



小中学校の学力については，各学校における指導の充実，指導主事による学校訪問指導等教員の指導力向上のための諸事業，少人数指導にかかる教員の加配，特別支援教育支援員の配置，標準学力検査・全国学力学習状況調査の実施と分析等の取組みにより，成果指標４項目のうち３項目で目標値を上回った。目標値を下回っている中学校数学についても，全国平均を上回っている。

小中学校の不登校については，スクールカウンセラー・適応支援相談員・学校支援員等を活用した各学校における教育相談体制の整備，適応指導教室「モリーオ」の設置，さまざまな体験活動を行う「いきいきスクール事業」の実施，指導主事の学校訪問，不登校対策委員会の開催等の取組みにより，目標を上回った。

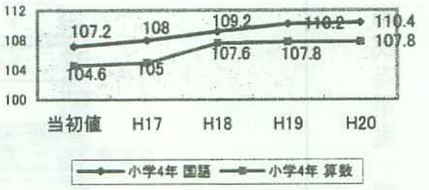
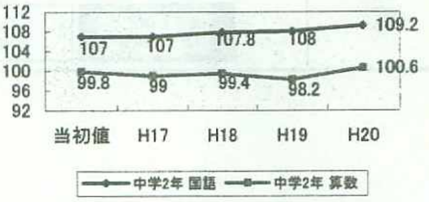
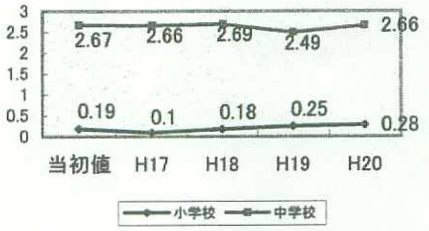
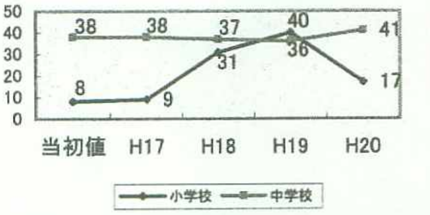
小中学校の体力運動能力については，各学校における教科体育の指導の充実，日常的な運動の実施，部活動の充実等の取組みにより，小学校では96種目中49種目で，中学校では48種目中37種目で全国平均を上回っている。

市立高校では，平成16年度から推薦入試，特別進学コースの設置等による教育改革に取り組んでおり，平成20年度末における成果指標は，平成16年度と比較して，進学・就職進路達成率は98.0％で4.94ポイント増，国公立大学合格者数は15名で9名増，新体力テストの全国水準との比較では男0.23ポイント増，女0.38ポイント増となった。入学目的の明確な生徒に対する意図的，計画的な指導の積み重ねとＰＴＡ，地域の支援により，目標値はおおむね着実に達成されてきている。

教職員の指導力の向上については，学校教育課題について具体的，実践的な解決を図るため，教育研究を委託する研究指定校を指定するとともに，研究指定校の学校公開研究会への教職員の参加を奨励した結果，参加者が目標値を上回る年度が多かったが，平成20年度は，公開校の規模等の影響により参加者が減少した。しかし，長期休業中に実施する教育研究所の公開講座の参加者は延べ704名で，前年度比30名の増であった。事後アンケートにより，受講者のニーズを把握しながら講座を開設したことも，参加者増の要因と考える。この他に，初任者研修，経験２年経過研修会，先人教育研修会，養護教諭研修会，教育研究所研究発表大会を実施し，教員の資質及び指導力の向上を図った。

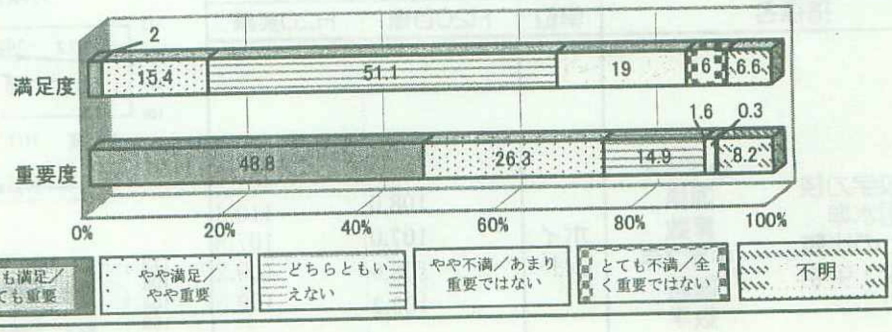
学校施設については，黒石野中学校屋内運動場の改造工事を実施し耐震化を図った。成果指標については，平成18年度から「耐震化率」を採用したことにより，文部科学省への報告や公表と同一内容になり，市民に分かりやすくなった。また，新たに成果指標を設定し，IS値0.3未満の施設（大規模地震で倒壊等の危険性の高い建物）について，23年度までに耐震化を終了することを目標とし，事業推進を図った。

教育委員会としては，小・中・高等学校それぞれの生徒指導連絡協議会を構成団体として「盛岡地域生徒指導研究推進協議会」（事務局：市教委学校教育課）を組織し，関係機関と連携を図りながら取組みを進めている。現在，警察や少年センター，県福祉総合相談センター等の関係者を招きながら，年間４回の会議を開催し，性感染症・薬物乱用や携帯電話など，青少年を取り巻く諸問題について講話・話題提供をしながら情報交換・協議を行っており，参加者は延べ500名を超えている。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較（小学校・中学校）(↗) 小学4年 国語 算数 中学2年 国語 数学	ポイント	 108.0 107.0 108.0 102.2	 110.4 107.8 109.2 100.6	 
問題行動調査（不登校）の出現率（↘） 小学校 中学校	ポイント	0.33 2.66	0.28 2.66	
体力運動能力（走・跳・投）の全国水準との比較（全国水準を上回っている種目の数）（小学校・中学校）（↗） 小学校 中学校	種目	17 41	17 41	

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
幼稚園・小中学校教育の充実	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較（小学校・中学校）（↗）	ポイント	施策成果指標に同じ	施策成果指標に同じ
	問題行動調査（不登校）の出現率（↘）	%	施策成果指標に同じ	施策成果指標に同じ
高等学校教育の充実	進学・就職進路達成率（↗）	%	95	98
	国公立大合格者数（↗）	人	25	15
	文科省新体力テストの全国水準との比較（得点平均値の差）（↗）	ポイント	男＋3.70 女＋3.00	男＋2.50 女＋2.94
	不登校出現率（↘）	%	1.0	0.7
教職員研修の充実	学校公開研究会参加者数（↗）	人	1,620	1,483
学校施設の充実	耐震化率（↗）	%	56.9	59.2
	耐震化が終了した小中学校数（↗）	施設	29	29
	Is 値0.3未満の建物（↘）	棟	－	20
児童・青少年の健全育成	補導件数（↘）	人	300	74
	刑法犯少年件数（↘）	人	282	241

市民満足度・重要度


満足度
2
15.4
51.1
19
6
6.6
重要度
48.8
26.3
14.9
1.6
0.3
8.2
0%
20%
40%
60%
80%
100%
とても満足／とても重要
やや満足／やや重要
どちらともいえない
やや不満／あまり重要ではない
とても不満／全く重要ではない
不明

4-2　いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築

【取組内容と成果】

市のホームページに「講座募集情報」を掲載するなど，市民への学習情報の提供に努めている。また，特技や専門的な知識を有する市民を登録し，市民の学習会に派遣する「生涯学習人材サポーティングシステム」と，市民参加のまちづくりを推進する「もりおかまちづくり出前講座」を実施するなどして，生涯学習推進体制の充実に努めている。その結果，学習相談件数が増加傾向にあるなど，市民の生涯学習への関心が着実に高まってきている。

成果水準	やや低い	市の役割	やや大きい
指標の水準	やや低い	市民満足度	標準

目標値比較	近隣比較	経年比較
やや低い	－	低い

社会教育の充実を図るため，各公民館を中心として，家庭教育，少年教育等多様な講座，教室を開催しているほか，関係団体への支援等広範な事業を展開している。

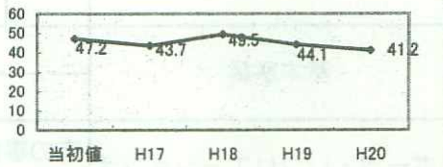
より効果的な社会教育事業を展開していくためには，市民ニーズを把握するとともに，このニーズに的確に応えることができる職員の資質向上が重要である。

市民の学びの場として例年と同程度の利用者数を確保できた。また，松園地区住民から強い要望があった公民館整備については，平成20年６月30日にホール等の新築部分を開館した。

また，指定管理者制度の導入について検討した結果，文化会館を併設し，その部分はすでに指定管理者制度に移行している都南公民館と河南公民館を先行的に導入することとした

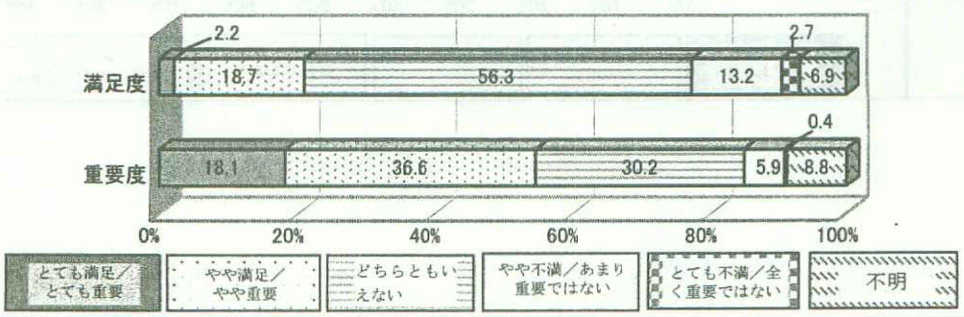
成果指標			
指標名	単位	H20目標	H20実績
市民アンケート調査「この１年間に何らかの学習をした」と答えた市民の割合（↗）	%	54.0	41.2

実績値の年次推移



基本事業	指標名	単位	H20目標	H20実績
生涯学習推進体制の充実	生涯学習指導者登録数（↗）	人	655	671
	学習相談件数（↗）	件	380	456
社会教育の充実	市の講座数（↗）	講座	875	1,651
	講座受講者数（↗）	人	107,050	110,272
社会教育の充実	社会教育施設数（↗）	施設	19	19
	施設利用者数（↗）	人	1,150,000	1,162,128

市民満足度・重要度



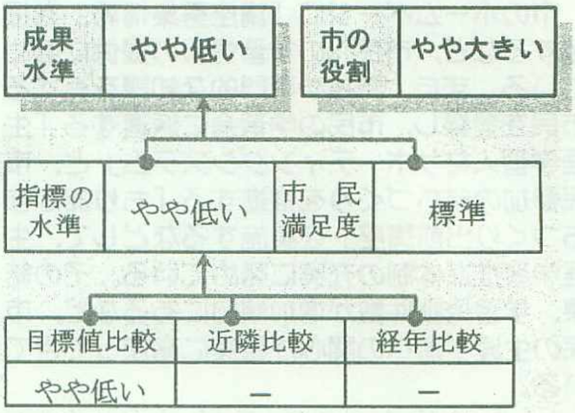
4－3　生涯にわたり楽しめるスポーツ・レクリエーションライフの実現

【取組内容と成果】

体育施設の各指定管理者が，スポーツ教室やスポーツ大会など積極的に自主事業を開催したことにより利用者が増えている。

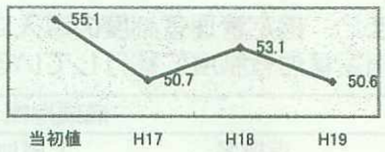
また，総合型地域スポーツクラブは，積極的に教室等を開催しており，現在２つのクラブが設立に向けて準備中である。

自主事業の増加や施設備品の充実を図り，指定管理者である盛岡市体育協会の職員研修も充実させサービス向上に努めた。



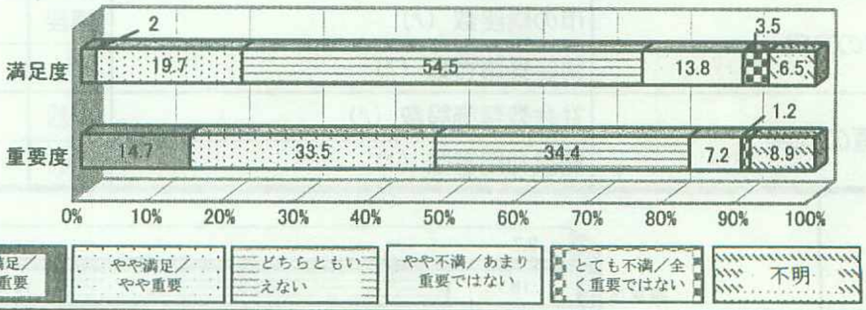
成果指標			
指標名	単位	H20目標	H20実績
市民アンケート調査「週１回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合（↗）	%	－	33.2

実績値の年次推移



基本事業	成果指標 指標名	単位	H20目標	H20実績
スポーツ・レクリエーション活動の充実	市の事業数（↗）	件	720	663
	事業参加者数（↗）	人	183,000	184,684
スポーツ・レクリエーション施設の整備と活用	市の施設数（↗）	施設	32	32
	施設利用者数（↗）	人	852,300	853,131

市民満足度・重要度



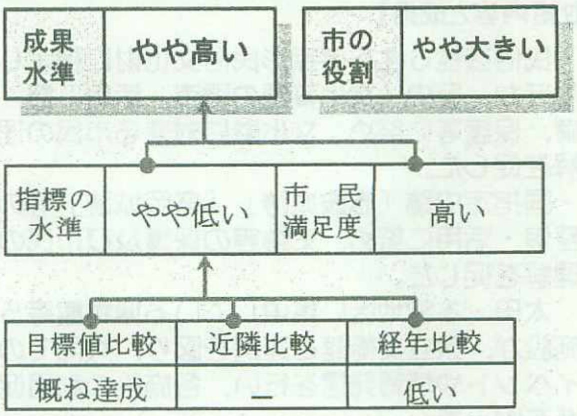
4－4　豊かな心を育む芸術文化活動の支援

【取組内容と成果】

指定管理者による良好な管理運営のもと，文化会館の特性を生かした芸術鑑賞事業や文化会館活動事業を展開するとともに，共催や後援を通して市民の発表機会の支援に努め，市民の芸術文化活動の推進を図った。

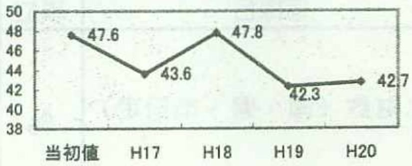
良好な施設環境を維持するため，指定管理者による文化会館（市民文化ホール，都南文化ホール及び盛岡劇場）並びに直営による渋民文化会館ともに施設修繕等を行った。

市民文化ホール，都南文化会館及び盛岡劇場については，指定管理の再指定手続きを行い，引き続き平成25年度まで（財）盛岡市文化振興事業団が指定管理者となった。また，これまで直営だった渋民文化会館も指定管理者制度に移行することとなり，他の３館と同様（財）盛岡市文化振興事業団が指定管理者となった。



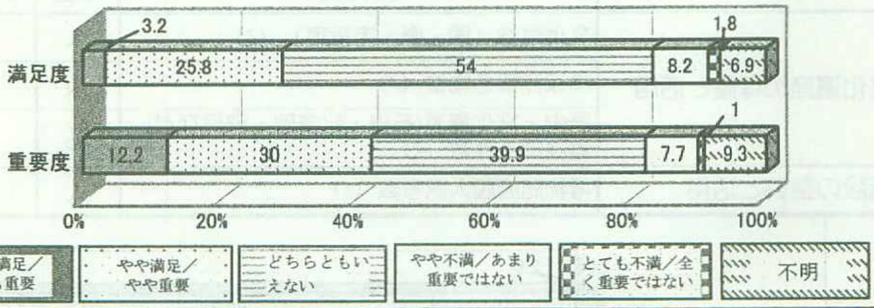
成果指標			
指標名	単位	H20目標	H20実績
市民アンケート調査「この１年間に何らかの芸術文化活動に参加した」と答えた市民の割合（↗）	%	47.5	42.7

実績値の年次推移



基本事業	成果指標 指標名	単位	H20目標	H20実績
芸術・文化活動の充実	芸術文化事業鑑賞者数（↗）	人	31,500	35,950
	文化会館活動事業参加者数（↗）	人	10,400	10,487
文化施設の整備と活用	文化会館平均利用率（↗）	%	76.5	71.3
	文化会館利用者数（↗）	人	394,000	436,624

市民満足度・重要度



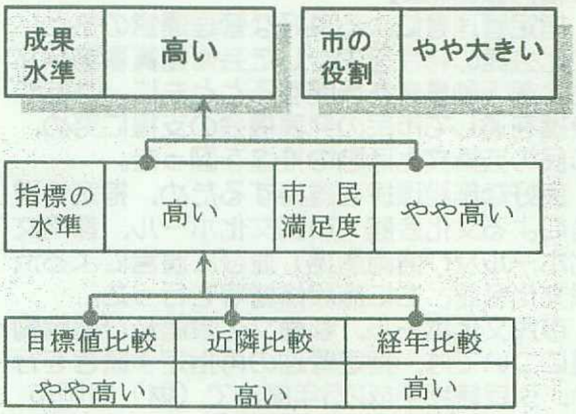
4－5　歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用

【取組内容と成果】

・民俗芸能６件を市無形民俗文化財に指定したほか，歴史・文化資源の調査，活用，整備，保護等に努め，文化財に対する市民の理解を促した。

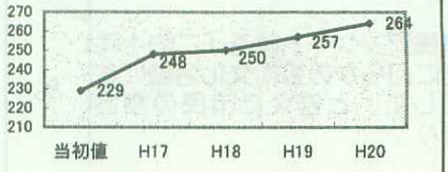
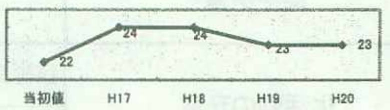
・国指定史跡「志波城跡」「盛岡城跡」等の整備・活用に努め，史跡等の保護及び市民の理解を促した。

　太田・本宮地区に集中している博物館等５施設が，県立美術館と連携を図り，共同でのイベントや情報発信を行い，各施設の利用促進を図った。



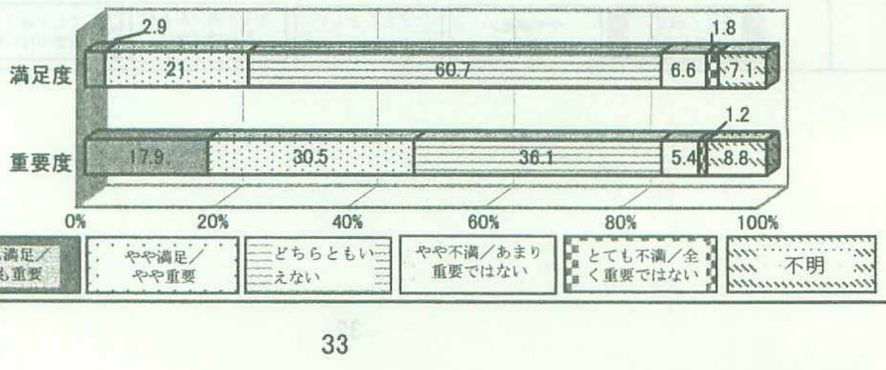
・平成21年度から指定管理者制度に移行する博物館3施設について，指定管理者の募集を行ったが，子ども科学館は応募者がなく選定できなかったが，原敬記念館・先人記念館(2館一体管理）については指定管理者を選定した。

・当市の歴史・文化を広く紹介することを目的とした盛岡城跡公園内に建設する歴史文化施設の整備工事に着手するとともに，展示実施設計を取りまとめた。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
文化財数（国・県・市指定）(↗)	%	259	264	
市保存建造物数（↗）	%	23	23	
アンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合（↗）	%	－	61.6	あらたに設定した指標であるため，年次推移のグラフは掲載していません。

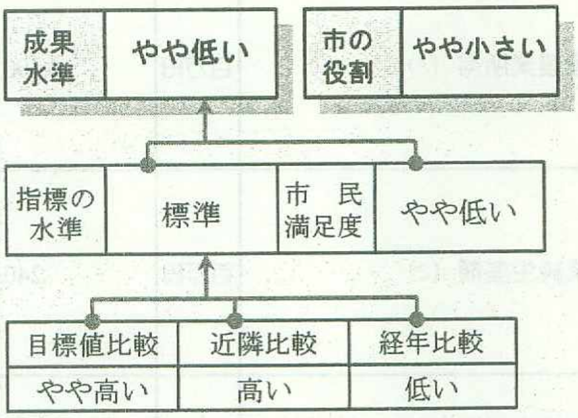
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
歴史的文化遺産の保護と活用	文化財数（国・県・市指定）（↗）	人	259	264
	市保存建造物数（↗）	人	23	23
	歴史・文化資源(石碑・記念碑・歌碑など)累積調査件数（↗）	%	2,807	7,317
博物館施設の整備と活用	博物館施設入館者数（↗）	人	182,000	164,246

市民満足度・重要度



5-1　活力ある農林業の振興

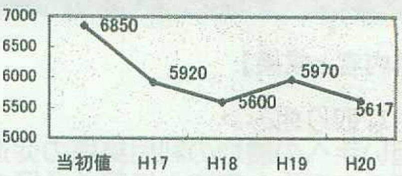
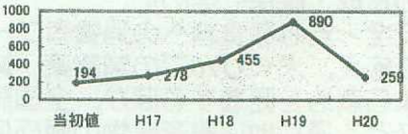
【取組内容と成果】



＜主な取り組み＞
①担い手への農地の利用集積の促進や，農業経営の効率化と安定化に努めるほか，3名の農業支援マネージャーの配置などにより担い手の育成・確保に努めた。
②安全・安心な食料への消費者ニーズの高まりに応え，米やりんごの減農薬・減化学肥料による栽培を促進するほか，全国朝市サミットなどを通じ地域農畜産物の販売促進に努めた。
③老朽化の進む岩洞湖からの農業用水施設の改善を国に要請するなど，農業用水路などの農業施設の維持管理や、農村地域の生活環境の保全に向けた地域一体となった取組みを促進した。
また，国の中山間地域等直接支払事業を導入し，耕作放棄の防止と農地の多面的機能の維持・確保に努めた。
④地域特産物としてアロニアや短角牛などの生産を振興するほか，産直活動や都市・農山村交流を活発化し，農山村地域の活性化に努めた。また，ユートランド姫神，都南つどいの森，外山森林公園，やぶかわ体験農園などを通した農林業体験や，イベントの開催によりグリーンツーリズムを推進した。
⑤庁内関係課とともに盛岡市食育推進計画を策定し，農業分野において食料と農業についての知識を啓発した。
⑥食料自給率の向上に向け，農業委員会と連携し，耕作放棄地の実態調査を行うとともに，盛岡市耕作放棄地対策協議会を設置し，耕作放棄地の解消に向けた取り組みを開始した。
⑦有機物資源の循環と，耕畜連携を推進するため，有機物資源活用施設の建設適地の選定調査を実施した。
⑧農業，商業，工業が連携した地場産品の活用による産業の活性化をめざし，庁内関係部署による検討会議を立ち上げた。
⑨健全な森林の育成を促進するとともに，市産材の安定供給と地域林業の活性化のため，盛岡市木材流通推進会議と共同して市産材流通推進アクションプランを策定した。

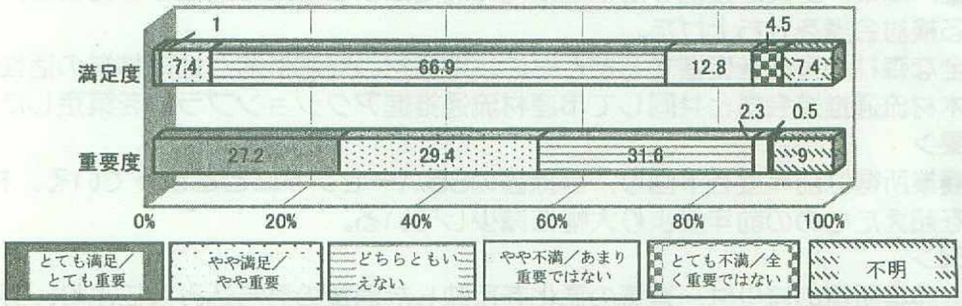
＜成果＞
生産農業所得は前年度を下回り，目標値の85パーセントにとどまっている。林業純生産額は目標を超えたものの前年度より大幅に減少している。

＜要因＞
・生産農業所得の減少は，景気の悪化を反映した消費の落ち込み等により，野菜，りんご，牛肉などの農畜産物価格が低迷したことに加え，農業生産資材の高騰により生産コストが増大したことなどが要因と思われる。
・林業純生産額の減少は，住宅着工数の大幅な落ち込みから，合板材料として近年，大量に使用されていたカラマツ材の需要が減少したことなどが要因と思われる。

成果指標				
指標名	単位	H20目標	H20実績	実績値の年次推移
生産農業所得（↗）	百万円	6,600	5,617	
林業純生産額（↗）	百万円	240	259	
販売農家従事者数（→）	人	11,820	12,783	数値は５年に１回実施する調査で把握するものであるため，年次推移の記載を省略しています。

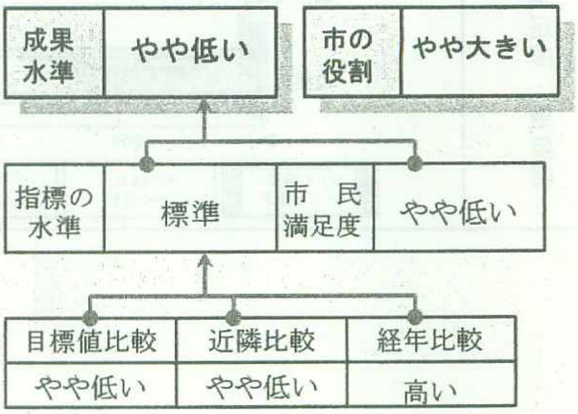
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
産業意欲と技術の向上	都市・農山村交流人口（↗）	人	1,782,000	1,317,472
	生産農業所得（↗）	百万円	6,600	5,617
	林業純生産額（↗）	百万円	240	259
産業基盤の整備	水田面積（→）	ha	4,263	4,036 推計値
	畑地面積（→）	ha	1,989	1,829 推計値
	樹園地面積（→）	ha	527	499 推計値
	民有林面積（→）	ha	48,336	48,336 推計値

市民満足度・重要度



５－２　まちに活力を与える工業の振興

【取組内容と成果】



市の工業振興を図るための４基本事業のうち、①「産学官連携の強化」については，岩手大学構内にＨ１９年８月に開設した市産学官連携研究センター（通称コラボＭＩＵ）をその拠点として，連携研究センター入居企業の研究開発支援や，大学・公設試験研究機関との共同研究を行う企業への助成のほか，盛岡市・岩手大学連携推進協議会（Ｈ18年11月に組織した連携推進会議をＨ20年7月改組）を開催するなど，産学官連携の強化により繋がった。

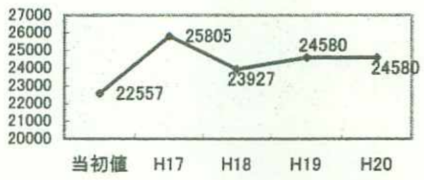
また，②基本事業「工場集団化の推進」については，Ｈ19年度に完成した盛岡テクノパークへの入居企業開拓のため、関係団体等と連携して製造業を主に宣伝・紹介を行ったほか，かつて入居意向のあった企業に対して折衝を行ったが，経済環境の悪化を主因として入居には至らなかった。また，玉山区への工業団地建設のため開発協議に必要な基礎資料の作成を行った。

③基本事業「起業家の支援」については，Ｈ14年11月に開設した市産業支援センターを拠点として，同センター入居者への起業支援のほか，起業家塾の開催（市事業）や地域の起業家発掘・育成（盛岡市、矢巾町・滝沢村共同事業）のための事業を行った。同センターに配置のインキュベーション・マネージャーの指導等により，入居者は起業へのステップを着実に踏んでいる。

④基本事業「中小企業の経営力の強化」については，世界同時不況に呼応した20年10月来の国内金融収縮に対処するため，国のセーフネット保証に対応して，県保証協会保証付の市融資制度利用者に対して保証料の全額を市で負担することとした。国はセーフネット保証対象業種を10月の185から年度内には760に拡大したことにより，市が行う保証料負担及び関連事務も急速に増加したが，この措置により雇用及び産業牽引の一担い手である中小企業の体力持続の支援に寄与したものと考えている。

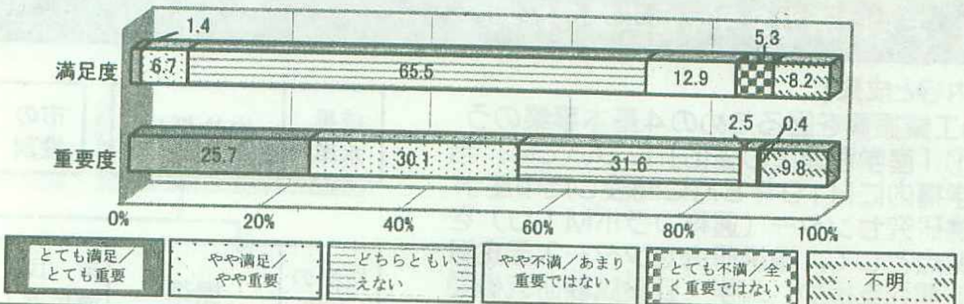
成果指標			
指標名	単位	H20目標	H20実績
製造品出荷額等（↗）	千万円	26,700	24,580

実績値の年次推移



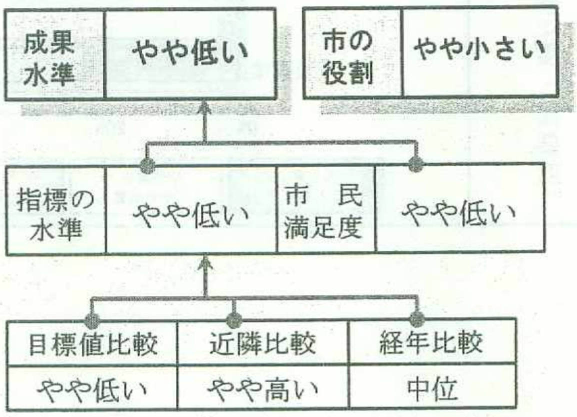
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
産学官連携の強化	共同研究により製品化された新技術等累計件数（↗）	件	30	29
工場集団化の推進	市内での企業団地移転社数（↗）	社	3	0
起業家の支援	創業者数（累計：市産業支援センター，県産業振興センター，岩手大学など）（↗）	人(社)	43	52
中小企業の経営力の強化	経営改善等研修会の参加者数（商工会議所，商工会など）（↗）	人(社)	1,100	779

市民満足度・重要度

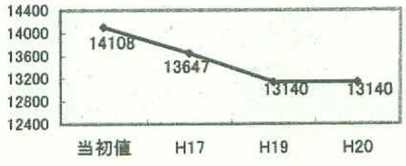
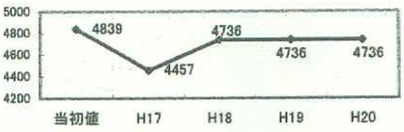

満足度
1.4
6.7
65.5
12.9
5.3
8.2
重要度
25.7
30.1
31.6
2.5
0.4
9.8
0%
20%
40%
60%
80%
100%
とても満足／とても重要
やや満足／やや重要
どちらともいえない
やや不満／あまり重要ではない
とても不満／全く重要ではない
不明

5－3　多様で活発な商業・サービス業の振興

【取組内容と成果】

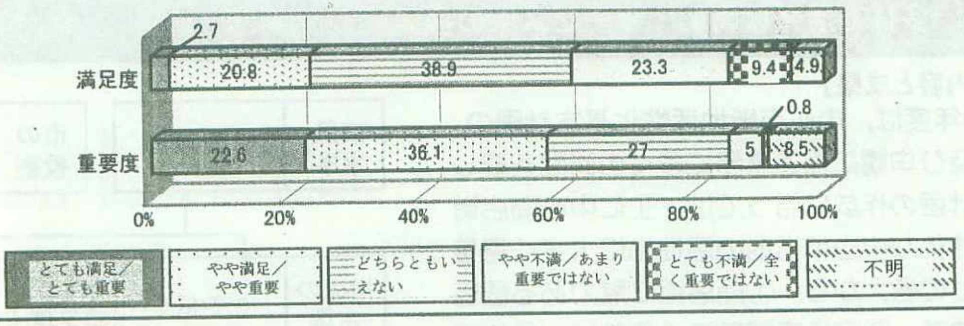


20年度は，中心市街地活性化基本計画の作成及び申請に係る事務に多くの時間を要した。計画の作成に当っては，主に中心商店街の活性化が中心市街地の活性化に大きく寄与するとの考えから，①商店街に魅力ある個店を増やす。②空き店舗をつくらない。③快適に買い物ができる環境をつくる。④個々の商店街が持つ特色を活かしたイベントを実施する，4つの視点に立っている。中心市街地活性化基本計画自体は７月上旬に内閣府の認定を得たが，活性化基本計画に登載した，個店魅力アップ事業や商店街空き店舗活用促進事業，商店街リフレッシュ事業，映画の街盛岡推進事業，ゆかたのまち盛岡推進事業等を，市商店街連合会や盛岡まちづくり（株）等商工団体と連携により実施したことにより，来街者の増加と滞留時間の伸長による，小売業やサービス業の販売額増加に寄与できたものと考えられるが，景気の低迷や原油価格の高騰等の経済不安による個人消費の冷え込みにより，また20年10月以来の経済環境の悪化により，市全体の卸・小売の年間販売額は減少傾向にある。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
卸・小売の年間販売額（↗）	億円	14,198	13,140	
サービス業の事業所数（↗）	事業所	4,909	4,736	

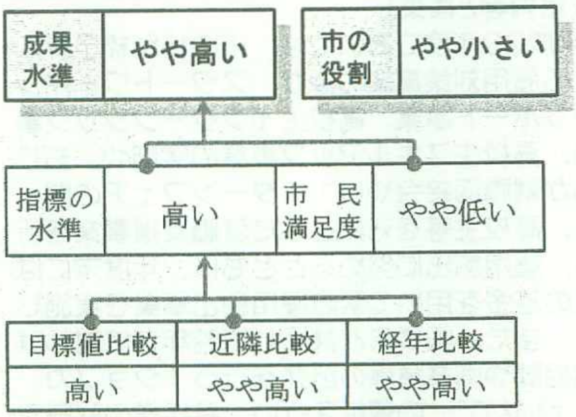
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
魅力ある商店街の形成支援	中心市街地の小売年間販売額（↗）	百万円	84,384	H20年度は，事業所・企業統計調査の実施年ではないため，数値は記載していません。
物流ネットワークの充実	卸売・運輸・通信業数（↗）	事業所	1,642	
情報等，多様なサービス業の振興	サービス業の従業者数（↗）	人	51,364	

市民満足度・重要度

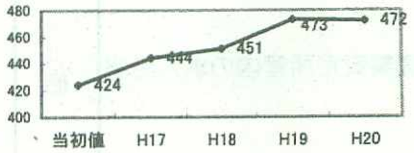

満足度
2.7
20.8
38.9
23.3
9.4
4.9
重要度
22.6
36.1
27
5
0.8
8.5
0%
20%
40%
60%
80%
100%
とても満足／とても重要
やや満足／やや重要
どちらともいえない
やや不満／あまり重要ではない
とても不満／全く重要ではない
不明

５－４　地域資源をいかした観光・物産の振興

【取組内容と成果】

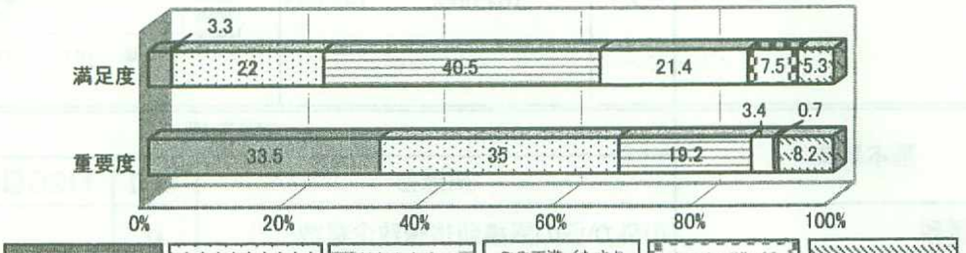


平成20年の前半は，前年のNHK朝の連続テレビ小説『どんど晴れ』の放映効果も期待していたが，６月，７月の二度にわたる大地震とその風評や，平泉の世界遺産登録延期決定等により，観光客誘客に少なからず影響があった。北東北大型観光キャンペーンやチャグチャグ馬コ，盛岡さんさ踊り，盛岡デーイン東京及び盛岡デーイン関西等の実施により，観光客入込数は過去最高を記録した昨年（473万人回）に迫る472万人回（前年比0.3%減）及んだ。これらテレビ放映や関連イベント等を通じ，盛岡の観光や特産品、文化・暮らしを総合的に首都圏をはじめ全国に情報発信できたほか，盛岡ブランド認証商品の販路拡大が図られるなど大きな成果を収めることができた。さらに，修学旅行については，修学旅行説明会にも積極的に参加し，誘客に努めた結果，前年を上回る誘客に至った。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
観光客入込み数（↗）	万人回	457	472	

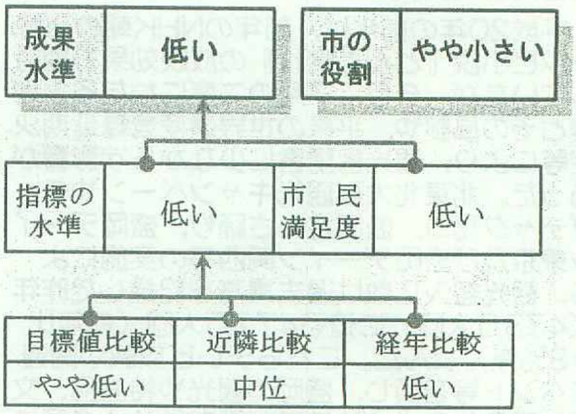
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
観光地づくりと観光客の誘致	アンケート調査「盛岡に行って見たい，訪れてみたい」と思う割合（↗）	%	38	56
観光交流の推進	観光客入込み数（↗）	万人回	457	472
魅力あふれる物産の振興	特産品の取扱高（盛岡市特産品振興協議会会員企業）（↗）	百万円	37.0	56.7

市民満足度・重要度

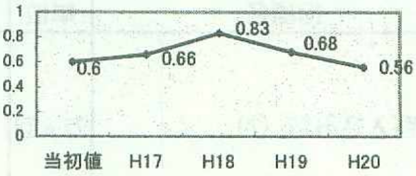
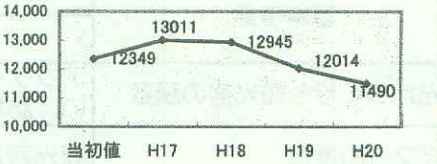
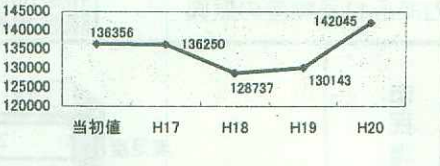


５－５　安定した雇用の創出と良好な労働環境の促進

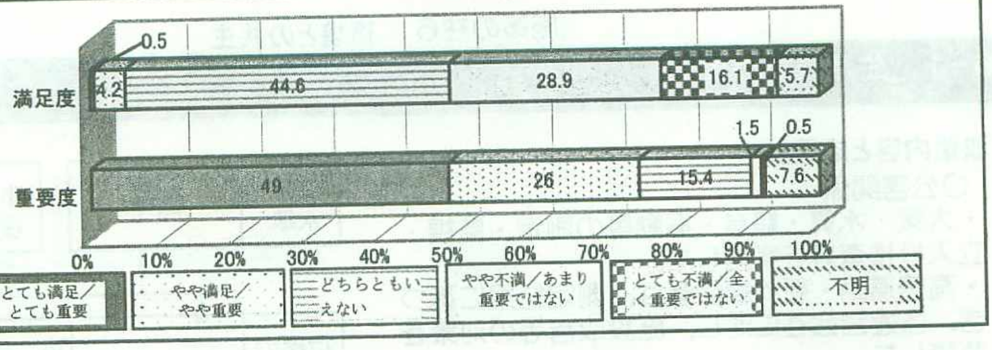
【取組内容と成果】



平成20年度においては，市の特別枠予算による雇用対策事業のほか，スタートワーキングサポート事業，高校生インターンシップ事業，高校生スキルアップ事業の実施や，もりおか就職面接会やU・Iターンフェアの開催，高校生等を対象とした就職支援事業を行い，雇用創出に努めるとともに、年度末には県の基金を用いて緊急雇用創出事業を実施した。また，国や県と共同して若年者に対し就職相談や職業意識の啓発を行う「ジョブカフェいわて」の運営を行い，若年者の就職支援を行った。その結果，20年10月以来の経済環境の悪化により，雇用失業情勢が徐々に悪化し，新たに雇用された者が年間ベースで僅かに減少したが，職を求める者が約９％増加した。企業誘致活動については，ソフトウェア開発企業２社の誘致を実現させたが，景気低迷に伴う誘致企業の撤退等が危惧される。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
盛岡職業安定所管内の求人倍率（↗）	倍	0.85	0.56	
新たに雇用された人の数（↘）／職を求める人の数（↘）	人	9,300	11,490	
	人	107,000	142,045	

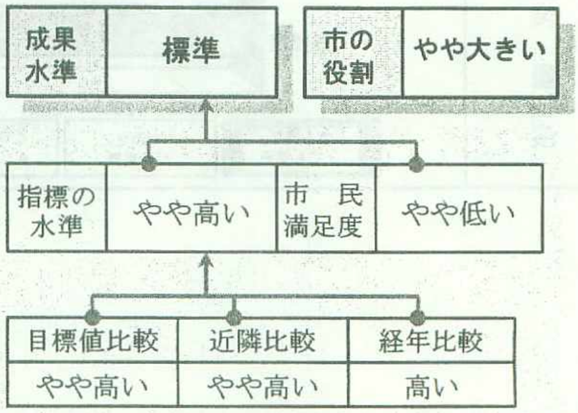
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
企業の誘致	市外からの累積新規誘致企業数（↗）	社	17	14
雇用対策の推進	盛岡職業安定所管内の求人倍率（↗）	倍	0.85	0.56
勤労者福祉の充実	(財)盛岡市勤労者福祉サービスセンター会員数（↗）	人	4,358	4,054

市民満足度・重要度	

満足度
重要度
0.5
4.2
44.6
28.9
16.1
5.7
1.5
0.5
49
26
15.4
7.6
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
とても満足／とても重要
やや満足／やや重要
どちらともいえない
やや不満／あまり重要ではない
とても不満／全く重要ではない
不明

6－1　生活環境の保全

【取組内容と成果】



○公害関係

・大気・水質・騒音・振動等の測定・監視・立入り検査等を実施した。

・高速道路・新幹線騒音は，測定結果に基づき，各運営会社に対し，施設改善等の対策を要請した。

・水質・騒音・振動の定点観測環境基準適合率は，目標を上回ったが，大気の定点観測環境基準適合率は，光化学オキシダントの環境基準の超過日数が相当数あったことから目標を下回った。

・公害苦情は，迅速に現地調査を行い，原因者に対し指導や改善の依頼を行い解決に努めているが，大気では農家等が行う野焼き，騒音では建設作業騒音等，法令・条例で対応できない事例が多い。

○廃棄物対策関係

・ごみ収集時間の早期収集（概ね午後2時までクリーンセンターに搬入）を目指し，早期収集地域を拡大した。

・タバコ等のポイ捨ては，キャンペーン等により継続したＰＲを行った。ポイ捨ての定点観測所では，ポイ捨てごみの個数が減少している。

・不法投棄対策では，監視や廃棄物の撤去を行ったが，通報件数・処理件数とも増加している。

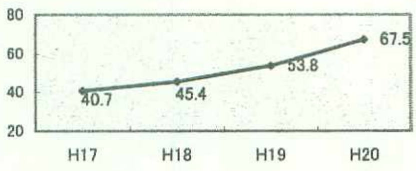
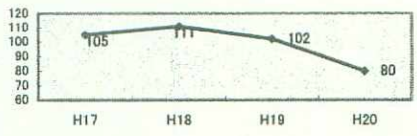
○処理施設関係

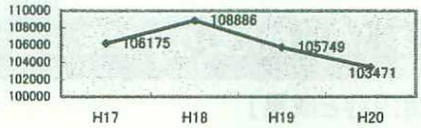
・ごみの減量や分別の徹底のＰＲ，経済状況の悪化等により，「一般廃棄物の総排出量」が減少した結果，焼却処理施設での年間処理量が減少した。

・クリーンセンターは，平成17年10月17日以降，連続して達成している公害防止協定の排出基準の遵守を平成20年度も達成した。また，ごみ焼却量，施設の稼動に伴う大気や騒音の測定状況等を公表し，周辺住民との信頼関係の維持に努めた。

・廃棄物最終処分場は，放流水や周辺地下水等の水質測定結果を公表し，周辺住民との信頼関係の構築に努めたほか，休日の管理体制の改善を行った。

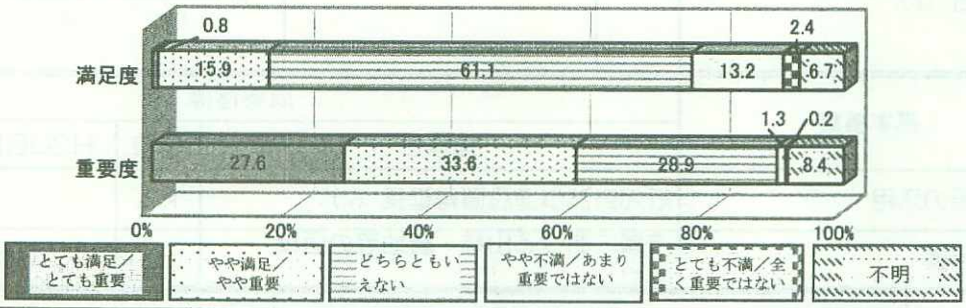
・平成22年度から開始するプラスチック製・紙製容器包装リサイクルに向け，盛岡・紫波地区環境施設組合にリサイクル施設の整備の準備を行った。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
市民アンケート調査「清潔で衛生的，公害がないといった点で，きれいなまちだと思う」と答えた市民の割合（↗）	%	46.0	67.5	
生活公害に関する苦情件数（↘）	件	92	80	

焼却処理施設での年間処理量（↘）	t	104,931	100,126	

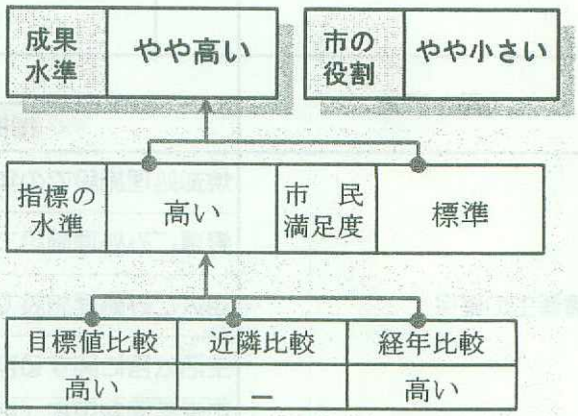
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
環境衛生の確保	焼却処理施設での年間処理量（↘）	t	104,931	100,126
	資源ごみ処理施設での年間処理量（↗）	t	12,774	12,868
	粗大ごみ処理施設での年間処理量（↘）	t	9,845	7,297
	生活公害に関する苦情件数（↘）	件	92	80
	市営墓園利用率（市営墓園使用区画数／市営墓園墓地数）（↗）	%	95.0	95.5
公害の防止	大気の定点観測環境基準適合率（適合地点数／観測地点数）（↗）	%	98.0	96.9
	水質の定点観測環境基準適合率（適合地点数／観測地点数）（↗）	%	97.0	97.0
	騒音の定点観測環境基準適合率（適合地点数／観測地点数）（↗）	%	75.0	84.4
	振動の定点観測環境基準適合率（適合地点数／観測地点数）（→）	%	100.0	100.0
	臭気の観測環境基準適合率（適合地点数／観測地点数）（→）	%	100.0	—

市民満足度・重要度



６－２　かけがえのない自然との共生

【取組内容と成果】



○自然資源の活用関係

・環境保護地区，保護庭園，保存樹木，近郊自然歩道の安全確保・自然環境保全のため，巡視を行ったほか，標識の修繕等を行った。

・開発や土地改変，森林伐採に伴い，指導・提言を行った。

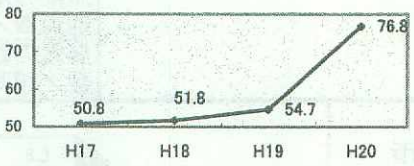
・成果指標である市民アンケート調査は，目標を達成している。

○自然保護関係

・平成18年度から23年度の期間で行っている玉山区の自然環境調査を，平成20年度は玉山区好摩地区で行った。

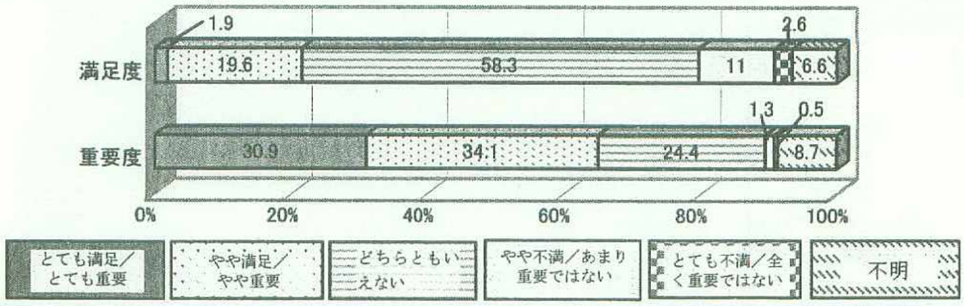
・鳥獣保護区，休猟区，銃猟禁止区域等の指定に向けた事前調査資料の作成を行った。

・カラスやカルガモ等の有害鳥獣の捕獲許可や市街地に進出したニホンジカ等の野生動物の捕獲等の対応を行った。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
市民アンケート調査「自然が守られていると思う」と答えた市民の割合（↗）	％	55.0	76.8	

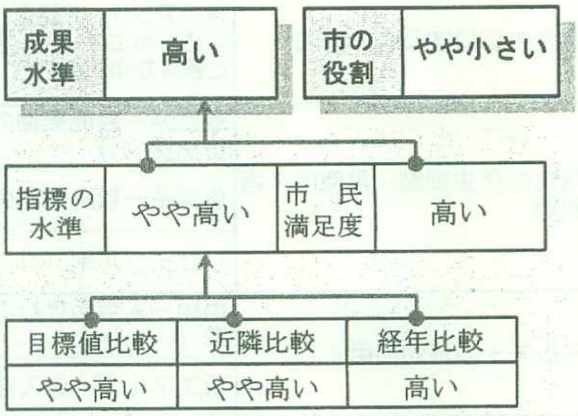
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
自然資源の活用	近郊自然歩道設置総延長（↗）	km	46	46
自然の保護	市域における山林・農地等の面積（→）	ha	35,702.0	36,249.3

市民満足度・重要度

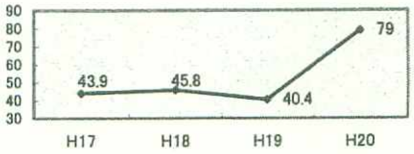
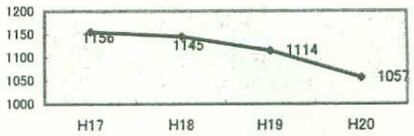
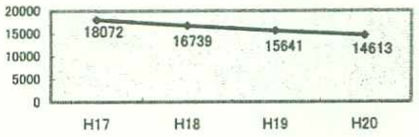


６－３　地球環境への貢献

【取組内容と成果】

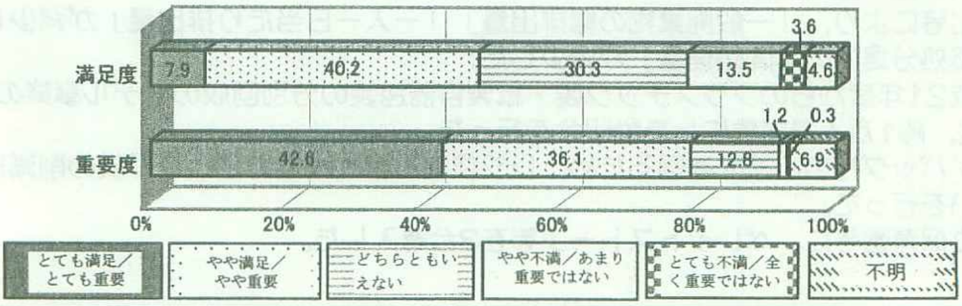


・省エネルギー，ごみ分別等の各種啓発事業を行ったほか，新たに「環境ゼミ」を設けた。
・市では，一事業者一消費者として環境負荷の低減に向けた取組の強化策とし導入したＩＥＳ（岩手環境マネジメントシステム・スタンダード）について，認証の継続を行った。
・廃棄物多量排出事業者や不動産管理会社，大学等へのごみ減量，分別の徹底の指導を行った。
・廃蛍光管のリサイクルを進めるため，平成20年10月から拠点での回収を実施した。
・ごみ減量や分別の徹底のＰＲ，経済状況のの悪化等により，「一般廃棄物の総排出量」「一人一日当たり排出量」が減少した結果，「最終処分場での年間処理量」が減少した。
・平成21年度からのプラスチック製・紙製容器包装の分別回収のモデル事業の開始に向け，3地区，約1万人を対象にした説明会を行った。
・マイバッグ持参の拡大を図るため，レジ袋使用量削減協力店とレジ袋の削減策について話し合いを行った。
・市立保育園等に，ペレットストーブ等を3台導入した。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
市民アンケート調査「ＣＯ２の発生抑制やごみの減量など，地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合（↗）	%	48.0	79.0	
一般廃棄物の１人１日あたりの排出量（↘）	g	1,110	1,057	
最終処分場での年間処理量（↘）	t	16,873	14,613	

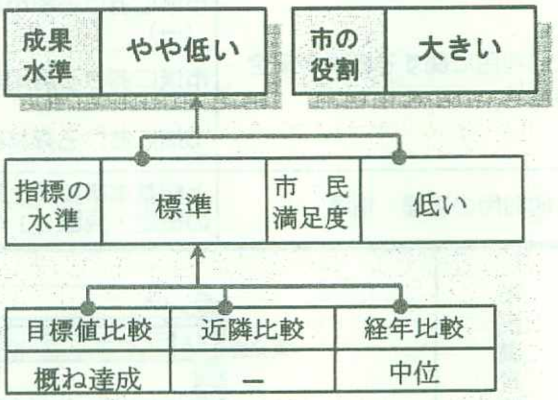
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
環境を大切にする心の育成	市民アンケート調査「CO2の発生抑制のため，省エネルギーを常に心がけている」と答えた市民の割合（↗）	%	45.0	80.8
廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用	家庭系一般廃棄物の1人1日あたりの排出量（↘）	g	653	641
	事業系一般廃棄物の年間排出量（↘）	t	50,297	45,364
	リサイクル率（↗）	%	17.0	17.0
エネルギーの有効利用	市民一人当あたりのCO2排出量増加率（→）	%	0	未確定
	新エネルギー導入件数（↗）	件	18	19

市民満足度・重要度

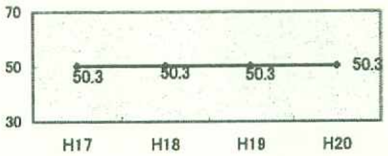
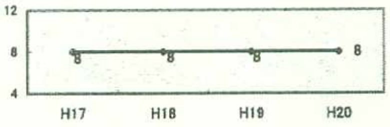
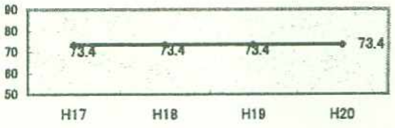


7-1　適正な土地利用計画の推進

【取組内容と成果】

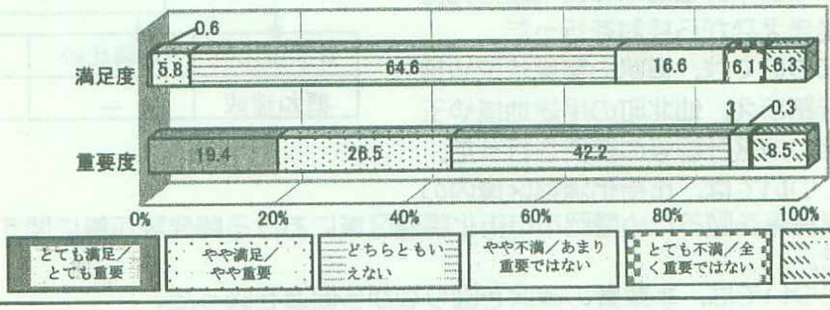


・19年度から策定を進めている国土利用計画盛岡市計画の見直しについて計画（案）を立案した。
・都市計画マスタープランの見直しについて，国土利用計画の見直しや玉山区の地域別構想また，広域都市計画区域の区域区分見直し方針等を踏まえながら検討を行った。
・地域地区については，道路の整備状況や現況土地利用を踏まえ，仙北町の用途地域や玉山区武道地区の地区計画等の変更を行った。
・開発許可については，市街化調整区域内の既存集落の維持等を図るため盛岡市市街化調整区域における開発許可等に関する条例の一部改正を行った。
・地籍調査については，事業費の確保を図りながら促進を図った。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
市域における都市計画区域の割合（→）	%	50.3	50.3	
市域における農用地区域の割合（→）	%	8	8	
市域における森林区域の割合（→）	%	73.4	73.4	

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
土地利用に関する計画の策定・見直し	市域における都市計画区域の割合（→）	%	50.3	50.3
	市域における農用地区域の割合（→）	%	8	8
	市域における森林区域の割合（→）	%	73.4	73.4
土地利用の管理・指導	上記基本事業「土地利用に関する計画の策定・見直し」の成果指標に同じ	－	－	－

市民満足度・重要度



７−２　魅力ある都市景観の形成

【取組内容と成果】

・景観法に基づく盛岡市景観計画の策定及び盛岡市景観条例を制定した。

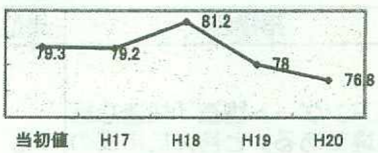
・盛岡市都市景観形成建築指導要綱に基づき建築物等への景観指導を行い，盛岡らしい景観形成に努めた。

・都市景観シンポジウムの開催，都市景観賞の実施，市政見学会及び都市景観受賞作品写真パネル展の開催等景観に対する啓発活動を行った。

・中核市移行に伴い県から移譲された屋外広告物事務について，事前協議制度の定着を図り迅速な事務処理に努めたと共に，違反広告物の撤去のためボランティアの公募等を行い違反広告物の取締りを行った。

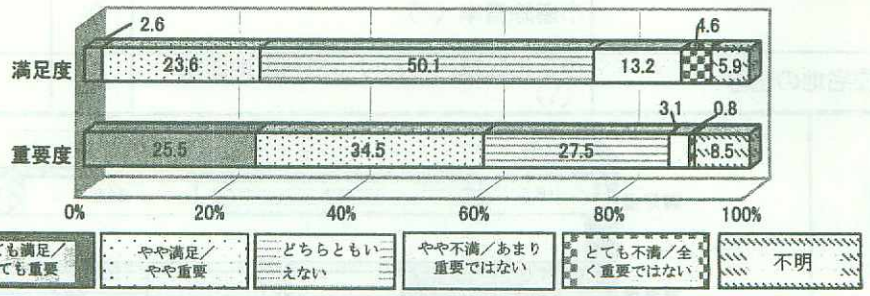
成果水準	やや低い	市の役割	やや小さい
指標の水準	やや低い	市民満足度	標準

目標値比較	近隣比較	経年比較
やや低い	やや高い	低い

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
市民アンケート調査「誇れる景観があると思う」と答えた市民割合（↗）	%	79.3	76.8	
市民アンケート調査「屋外広告物（屋外に表示・設置されているはり紙や看板など）は，景観に配慮して表示・設置されていると思う」と答えた市民割合（↗）	%	−	26.1	あらたに設定した指標であるため，年次推移のグラフは掲載していません。

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
景観対策の充実	景観重要建造物及び景観重要樹木の指定件数（累計）（↗）	件	あらたに設定した指標であるため，年次推移のグラフは掲載していません。	
景観形成の誘導	景観地区並びに準景観地区の指定件数（累計）（↗）	件		

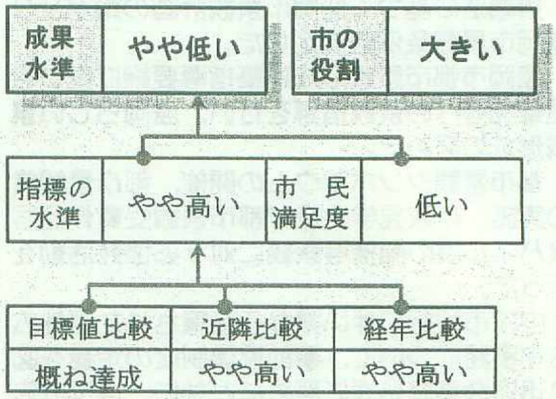
市民満足度・重要度



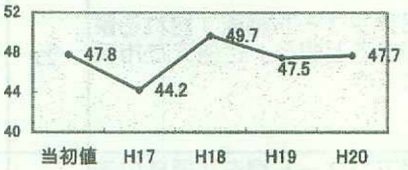
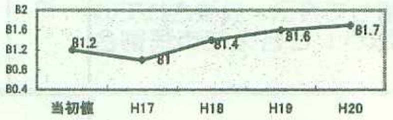
７－３　快適な居住環境の実現

【取組内容と成果】

・市道は市民の日常生活を支える上で重要な社会資本であるとの観点から緊急性，重要性，地域性等を十分考慮しながら道路の維持管理に努めると共に各種事業を実施した。特に，市道舗装率は81.7％と前年度に比較して僅かながら（0.1ポイント）アップし，平成20年度の目標値を達成することができた。また，市民アンケート調査による快適な居住環境であると答えた市民の割合は47.7％で前年度に比較して僅かながらアップしたが，目標値49.3％には至らなかった。

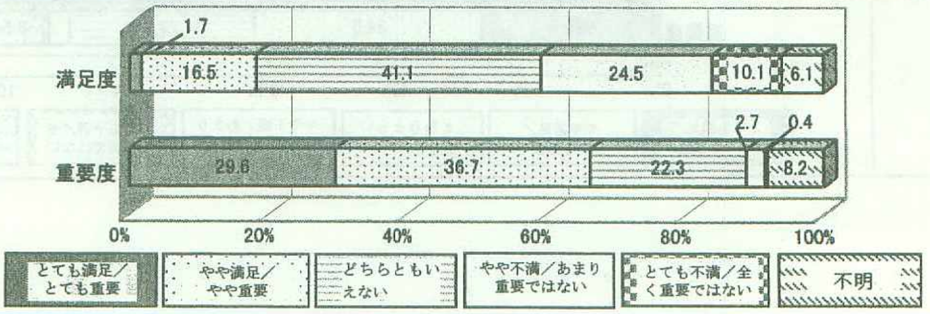


・盛岡市耐震改修促進計画の着実な推進を図るため，平成21年１月に「市有建築物耐震化整備プログラム」を策定公表し，市有建築物の耐震化に努めることとした。一方，個人の戸建て木造住宅の耐震化については，県の耐震支援事業化に合わせて耐震改修補助事業を平成20年度からスタートさせ，５戸の耐震改修を実施した。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
市民アンケート調査「快適な居住環境である」と答えた市民の割合（↗）	%	49.3	47.7	
市道舗装率（↗）	%	81.7	81.7	

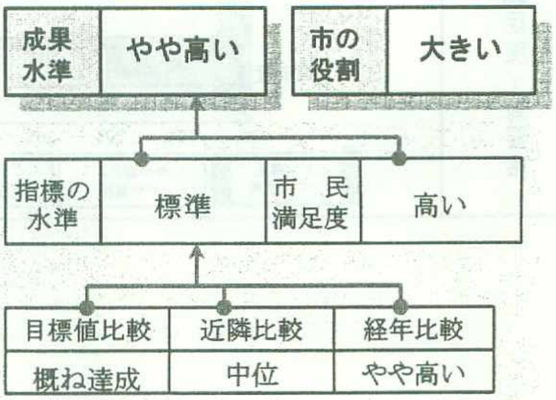
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
生活道路環境の向上	市道改良率（↗）	%	73.1	73.0
	市道除雪率（↗）	%	66.0	67.8
良好な住宅地の誘導	市街化区域内における未利用地面積（↘）	ha	233.0	218.5

市民満足度・重要度



7－4　うるおいのある公園・街路樹の確保

【取組内容と成果】



・花と緑のガーデン都市づくりで実施しているハンギングバスケットは659個となり，公共空間においては引き続き日本一の数を維持するとともに，市民，事業者，行政の協働により花と緑のまちづくりに取り組んだ。

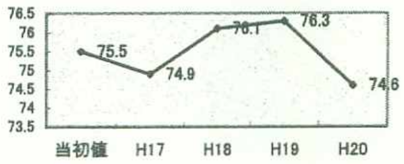
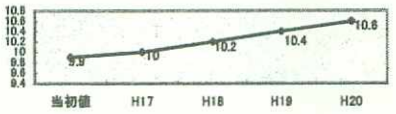
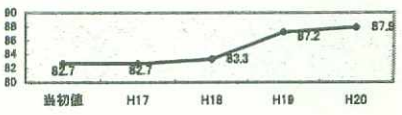
・お城を中心としたまちづくり計画については，１９年度に立案したまちづくりの将来像を踏まえ，関連する事業を短期（５年），中期（１０年），長期の３区分した事業計画を検討しお城を中心としたまちづくり計画（案）として取りまとめた。

・公園整備については，中央公園，高松公園等について引き続き整備を行うとともに，土地区画整理事業が進行する盛岡南地区，浅岸地区の街区公園の整備を進めた外，グランドワークによる住民との協働で身近な公園整備を行い公園面積の増加に努めた。

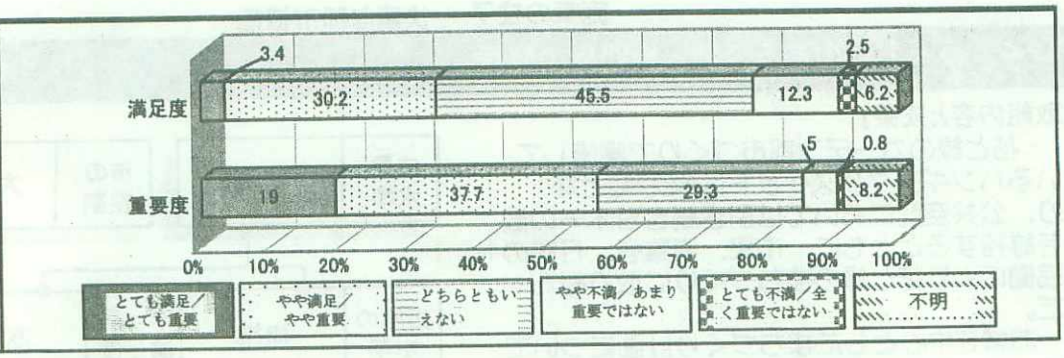
・公園の安全確保については，16年度より計画的に取り組んでおり，２０年度も遊具の修繕や移設等を実施し安全を確保した。

・街路樹については，主に都市計画道路や土地区画整理事業地内の幹線道路に設置しているが，これらの道路の整備の遅れにより街路樹の設置が進まない状況にある。

・私的空間の緑化推進については，緑のまちづくり事業による支援制度を実施し緑化の推進を図ったが，支援制度の利用件数は減少の傾向にある。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
市民アンケート調査「公園や街路樹などの街の中の緑が多いと思う」と答えた市民の割合（↗）	％	80.0	74.6	
１人あたりの公園等面積（↗）	㎡/人	10.5	10.6	
街路樹のある道路延長（↗）	ｋｍ	89.8	87.9	

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
スペースの確保	１人あたりの公園等面積（↗）	㎡/人	10.4	10.6
	公園数（↗）	箇所	438	447
公共空間の緑化推進	街路樹のある道路延長（↗）	km	98.0	87.9
	公的緑化推進制度の利用件数（→）	件	250	241
私的空間の緑化推進	私的緑化推進制度の利用件数（→）	件	150	82

市民満足度・重要度	

満足度
重要度
3.4
30.2
45.5
12.3
2.5
6.2
19
37.7
29.3
5
0.8
8.2
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
とても満足／とても重要
やや満足／やや重要
どちらともいえない
やや不満／あまり重要ではない
とても不満／全く重要ではない
不明

7-5　いつでも信頼される上水道事業の推進

【取組内容と成果】

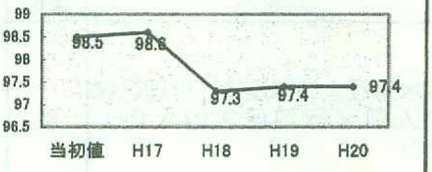
盛岡市が抱えている地理的な条件の中で，郊外部や標高が高い地域への給水は費用対効果の点と維持管理の面で困難が伴うが，未給水地域の住民からの給水要望を踏まえ，着実に未給水の解消に努力を続けている。この結果，伸び率は小さいものの着実に水道整備地域は増加している。また水道はライフラインとして，震災時においても安定した給水をしつづけることが求められ，本市においてはH5年から耐震管の使用を開始し，以来震度７の震災にも対応可能な管路の割合（耐震化率）が着実に増加してきている。

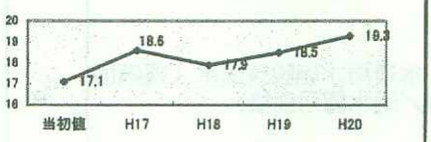
成果水準	やや高い	市の役割	大きい
指標の水準	標準	市民満足度	高い

目標値比較	近隣比較	経年比較
概ね達成	中位	やや高い

成果指標			
指標名	単位	H20目標	H20実績
上水道普及率（↗）	%	98.4	97.4
水道管耐震化率（↗）	%	20.0	19.3

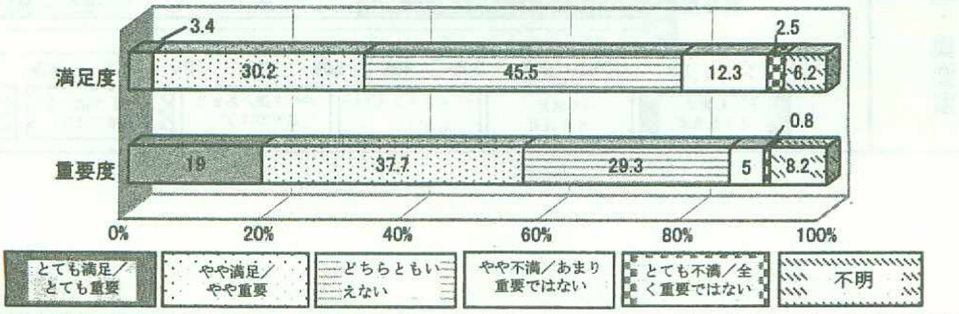
実績値の年次推移





基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
安定給水の確保	有効率（↗）	%	93.7	93.6
	耐震化率（↗）	%	20.0	19.3
	残留塩素（↘）	mg/l	1.0以下	0.5
給水サービスの向上	公道内鉛製給水管解消率（↗）	%	52.6	46.4
経営の効率化	総資本利益率（↗）	%	0.30	0.29
	自己資本構成比率（↗）	%	58.00	61.87

市民満足度・重要度



7－6　健全な水環境・良好な水環境の創出

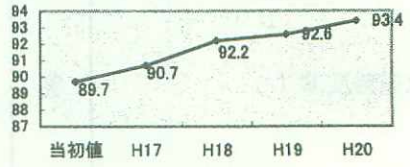
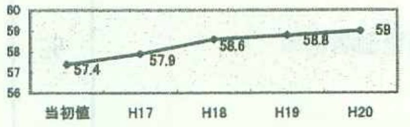
【取組内容と成果】

施設整備については，事業効果，緊急度等を勘案しながら整備を実施したことにより，汚水処理人口普及率，雨水施設整備率とも目標を越える成果が得られた。

また，全般的な経費の削減，使用料の適正な賦課等に努めたことにより，使用料回収率についても目標を超える成果が得られた。

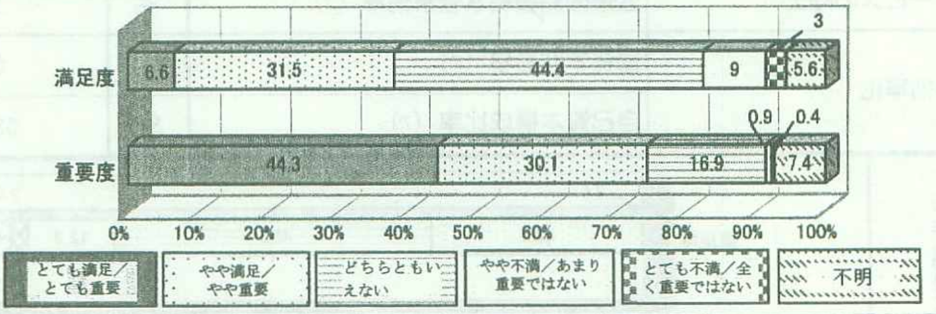
成果水準	高い	市の役割	やや大きい
指標の水準	やや高い	市民満足度	高い

目標値比較	近隣比較	経年比較
やや高い	やや高い	高い

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
汚水処理人口普及率（処理区域内人口／行政区域内人口）（↗）	%	92.6	93.4	
下水道雨水施設整備率（整備面積／雨水認可面積）（↗）	%	58.5	59.0	

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
汚水処理の充実	汚水処理人口普及率（処理区域内人口／行政区域内人口）（↗）	%	92.6	93.4
雨水浸水対策の推進	下水道雨水施設整備率（整備面積／雨水認可面積）（↗）	%	58.5	59.0
下水道事業の健全育成	回収率（使用料単価／処理原価）（↗）	%	83.3	86.0

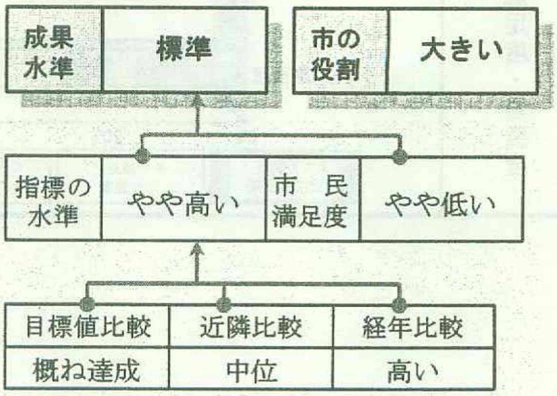
市民満足度・重要度



7－7　にぎわいのある市街地の形成

【取組内容と成果】

・健全な市街地形成を図るための土地区画整理事業については，太田地区等公共施行5地区について住宅地等の整備を進め良好な市街地の形成を図るとともに，盛岡駅西口地区，浅岸地区については，換地処分等の事業収束に向け取り組んだ。

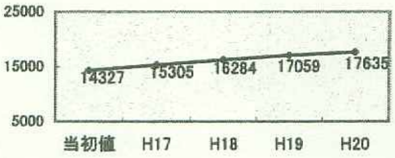
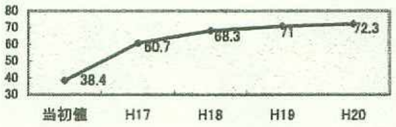
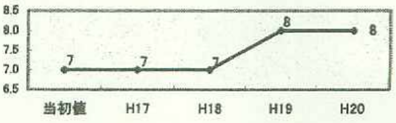


・土地区画整理事業の未整備地区については，今後のまちづくりや整備手法等について地区住民との話合いを行った。

・保留地処分については地価の下落傾向等により厳しい状況となっているが，一部の保留地については処分を行った。

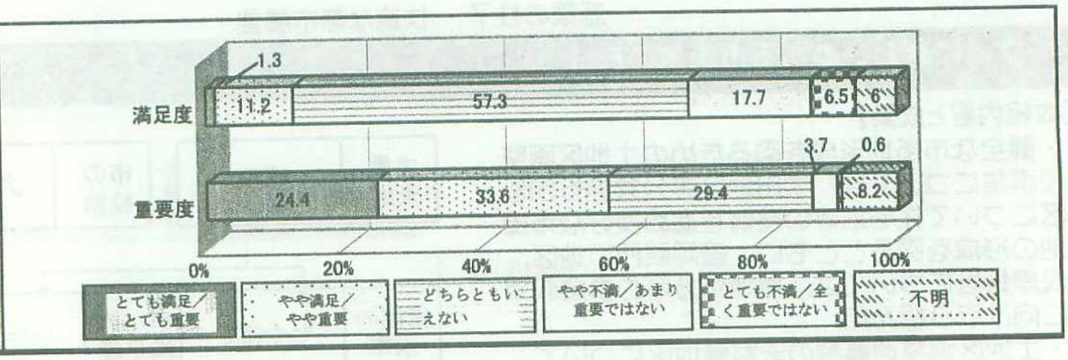
・盛岡南新都市土地区画整理事業については，国直轄事業で進めている盛岡西バイパスの構造変更に係る都市計画変更手続きを進めるとともに，土地活用促進に向け１７街区の地区計画の変更を行った。また，具体的土地利用が定まっていない306街区について地権者等と今後の土地活用の方向性等について話合いを行った。

・中心市街地活性化計画に位置づけられているバスセンターの再開発について，事業化に向けた計画策定への支援及び権利者等の情報交換を行った。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
土地区画整理事業施行地区内人口（↗）	人	17,989	17,635	
商業地域面積利用率（利用済商業地域面積／商業地域面積）（↗）	%	80.4	72.3	
既成市街地に整備された拠点施設数（累計）（↗）	棟	8	8	

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
既成市街地の再整備	浅岸・太田・都南中央第三地区の市街化率(施行地区内人口/施行地区内の計画人口)（↗）	%	61.5	60.2
	整備された累計拠点施設数（↗）	棟	8	8
都心を担う新市街地の整備	西口・盛南地区の市街化率(施行地区内人口/施行地区内の計画人口)（↗）	%	49.5	48.6
	商業地域面積利用率(利用済商業地域面積/商業地域面積)（↗）	%	80.4	72.3

市民満足度・重要度



1.3
満足度
11.2
57.3
17.7
6.5
6
3.7
0.6
重要度
24.4
33.6
29.4
8.2
0%
20%
40%
60%
80%
100%
とても満足／とても重要
やや満足／やや重要
どちらともいえない
やや不満／あまり重要ではない
とても不満／全く重要ではない
不明

７－８　都市活動を支える交通環境の構築

【取組内容と成果】

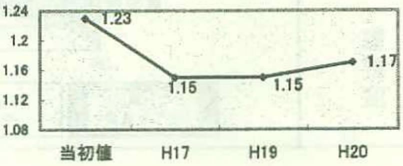
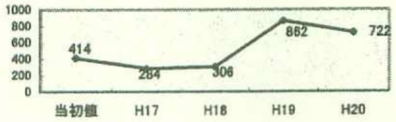
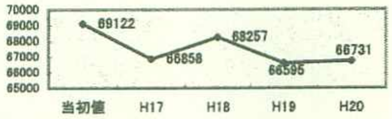
平成20年度は，マイカーの抑制を目標に特に自転車に関する取り組みを実施した。その結果，徒歩・自転車利用率が向上し，結果としてこれまで増加傾向であった自動車利用率が横ばいであったことは成果があったと考える。一方，事故件数についても目標に達しなかったものの前年と比較して減少したことは，取り組みに一定の成果が見られたものと考える。

成果水準	やや低い

市の役割	やや大きい

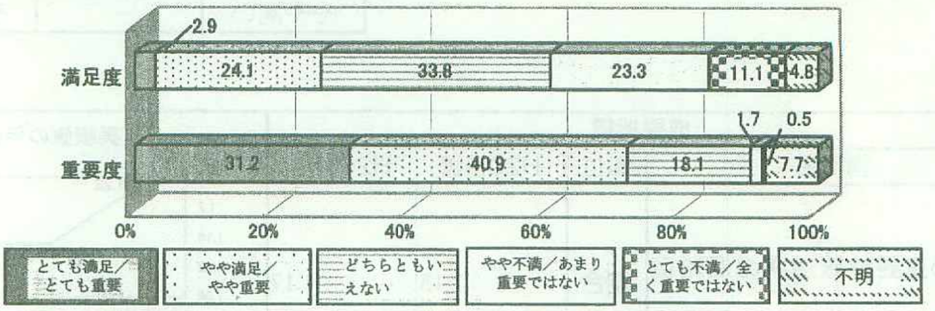
指標の水準	標準	市民満足度	やや低い

目標値比較	近隣比較	経年比較
やや高い	―	やや低い

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
平日の主要幹線道路の混雑度（↘）	割合	1.15	1.17	
無違反の歩行者・自転車が事故に遭った件数（↘）	件	414	722	
交通の手段分担率の変化 自動車（↘） バス（↗） 鉄道（↗） 徒歩，自転車等（↗）	％	65.0 12.3 3.8 19.0	65.0 12.3 3.8 19.0	あらたに設定した指標であるため，年次推移のグラフは掲載していません。
１日当りバス・鉄道利用者数（↗）	人	69,800	66,731	

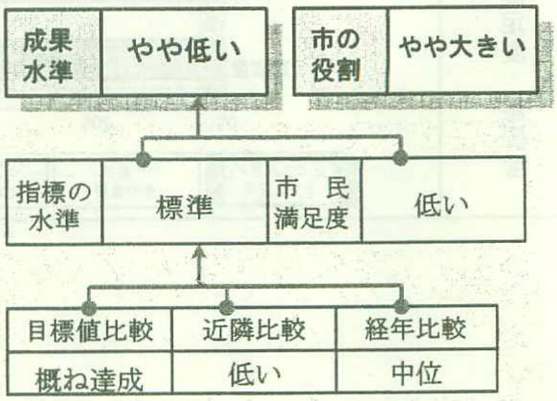
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
総合交通体系の確立	市民アンケート調査「快適に移動できる」と思う市民の割合（↗）	%	33.9	49.0
公共交通機関の利便性向上と利用促進	1日当たりバス利用者数（↗）	人	－	32,400
	1日当たり鉄道利用者数（↗）	人	－	30,700
自転車，歩行者のための交通環境の構築	市民アンケート調査「自転車で快適に移動できる」と思う市民の割合（↗）	%	34.4	34.5
	歩道設置延長（↗）	km	390	396
幹線道路の整備	幹線道路改良率（↗）	%	57.0	56.6

市民満足度・重要度



８−１　健全な財政運営の実現

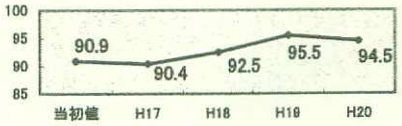
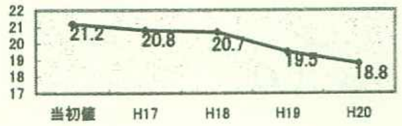
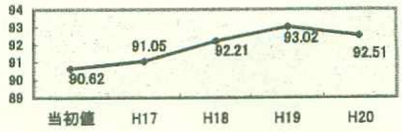
【取組内容と成果】



①市税（国保税除く）については，適正な賦課に努めるとともに，収納率目標を設け収納確保に取り組んだが，世界同時不況による景気低迷の影響で個人・法人市民税や固定資産税の収納率が落ち込み，収納率目標をクリアできなかった。

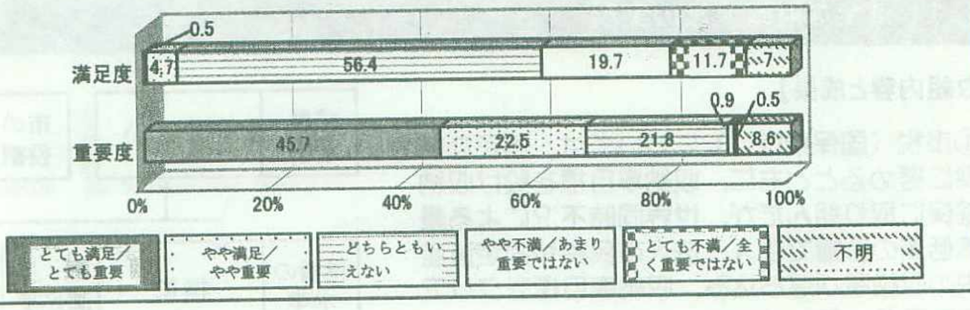
②財政運営については，予算編成において，引き続き行政評価と総合計画の連動による施策別枠配分方式により実施するとともに，市債残高を減らし後年度の公債費負担を抑制するため，行財政構造改革の方針に基づき、市債発行額を歳入予算総額の８％以内かつ元金償還額以内にとどめた。

③公有財産については，関係課との連携により市有財産の把握に努め，財産台帳の整備を促進するとともに，未利用市有地の売却に努めた。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
経常収支比率（↘）	%	91.3	94.5	
公債費比率（↘）	%	18.9	18.8	
市税の収納率（↗）	%	93.20	92.51	

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
賦課の適正化と収納率の向上	一般会計市税収納率（↗）	%	93.20	92.51
健全な財政運営	市債発行額（市債依存度）（↘）	千円 %	7,097,100 (7.5)	6,794,800 (7.1)
	自主財源比率（↗）	%	52.2	52.9
公有財産の適正管理	財産台帳整備面積率（財産台帳整備面積/行政財産の土地面積）（→）	%	100	100
公有財産の有効利用促進	未利用市有地面積（都市計画事業代替地除く）（↘）	千㎡	145	106
	有効的に活用されていない建物（↘）	件	1	2

市民満足度・重要度


満足度
4.7
0.5
56.4
19.7
11.7
7
重要度
45.7
22.5
21.8
0.9
0.5
8.6
0%
20%
40%
60%
80%
100%
とても満足／とても重要
やや満足／やや重要
どちらともいえない
やや不満／あまり重要ではない
とても不満／全く重要ではない
不明

８－２　計画的で効率的な行政運営の推進

【取組内容と成果】

平成19年度からスタートした「第二次行財政改革の方針及び実施計画」は，平成20年度目標達成率は92%と前年度より3%上がっている。また，本施策の成果指標である総合計画実施計画の事業着手率は，99.4%とほぼ目標どおりの達成率となっている。

成果水準	やや低い	市の役割	大きい

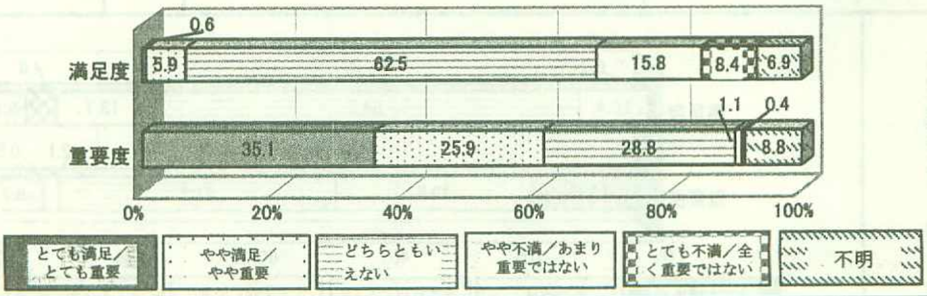
指標の水準	やや高い	市民満足度	低い

目標値比較	近隣比較	経年比較
概ね達成	－	高い

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
総合計画実施計画の事業着手率（→）	%	100.0	99.4	あらたに設定した指標であるため，年次推移のグラフは掲載していません。

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
計画行政の推進	総合計画実施計画の達成率（事業費ベース）（↗）	%	100.0	99.1
行政改革の推進	各年度ごとの計画に対する達成率（＝各年度ごとの達成項目÷各年度ごとの取組項目）（↗）	%	100	92
	計画期間全体に対する達成率（＝計画期間中の達成項目÷計画期間中の取組項目）（↗）	%	75	64
議会活動の支援	円滑で効率的な運営ができた議会の割合（→）	%	100	100
公正な行政事務の確保	行政訴訟件数（↘）	件	1	0
	選挙争訟件数（↘）	件	0	0

市民満足度・重要度



8－3　市民とともにつくる行政の実現

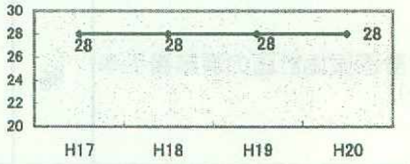
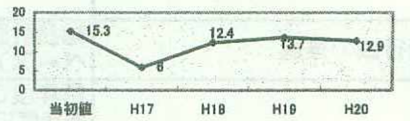
【取組内容と成果】

パブリックコメントを求めた件数は，前年度より1件増加しており，提出人数も27人から73人と増加している。情報開示請求は，業者による工事の入札関係情報の請求が増加している。

成果水準	やや低い	市の役割	やや大きい

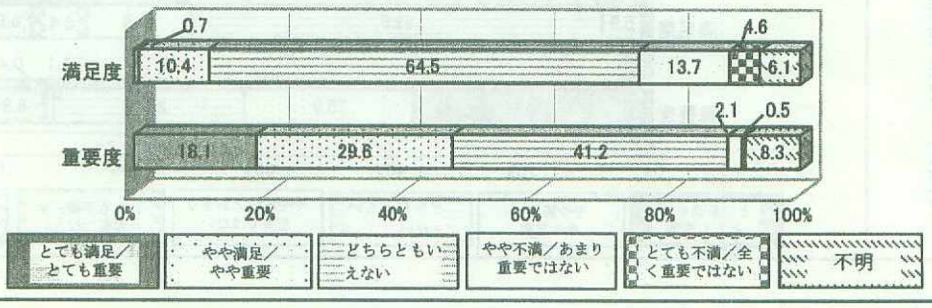
指標の水準	標準	市民満足度	やや低い

目標値比較	近隣比較	経年比較
概ね達成	中位	中位

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
市民参加を推し進めている累計事業数（↗）	事業	33	28	
パブリックコメントに寄せられた１件あたりの意見数（↗）	件	13.0	12.9	

基本事業	成果指標 指標名	単位	H20目標	H20実績
分かりやすい行政情報の提供	開示請求及び情報提供件数(ホームページ新着情報件数含む)（↗）	件	1,400	3,653
広聴広報機能の充実	市民アンケート調査「市民意見が市政に反映されている」と答えた市民の割合（↗）	％	40.0	21.2
市民参加の促進	協働事業の件数（↗）	件	108	217

市民満足度・重要度

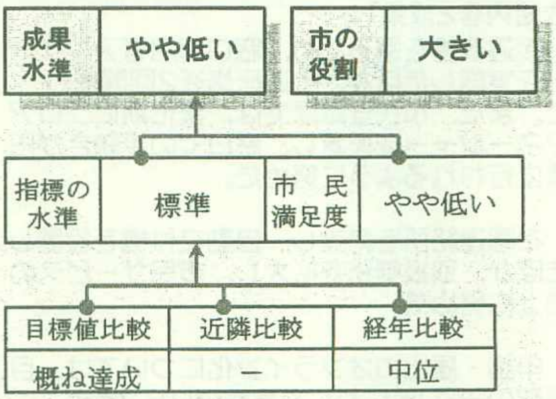


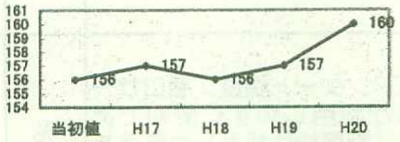
8－4　市民の負託に応える組織の構築・人材の育成

【取組内容と成果】

・自律的・主体的な能力開発と組織の支援を柱とした「人を活かす人事システム」関連施策を展開することにより，職員の能力・資質の向上及び組織の目標の達成並びに活性化に努めた。

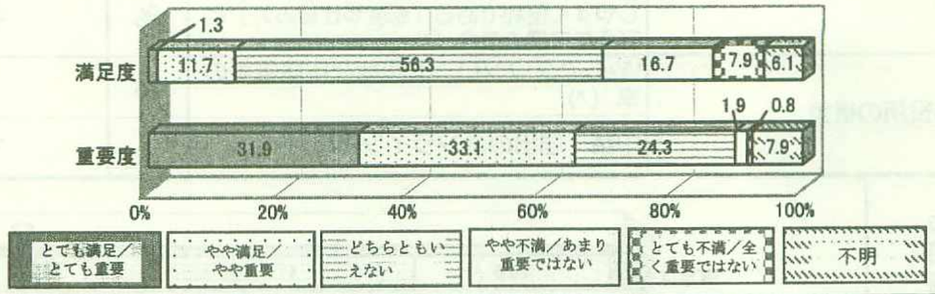
・研修参加意欲を高めるため選択研修や公募方式を取り入れ，自発的な能力開発を支援した。



成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
市民アンケート「市の職員は責任を持って仕事をしている」と答えた市民の割合（↗）	%	50.0	42.8	あらたに設定した指標であるため，年次推移のグラフは掲載していません。
職員１人あたりの人口（普通会計）（↗）	人	162	160	

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
職員人材開発の充実	研修参加率（↗）	%	68	76
組織・人事の適正化	職員１人当たりの人口(普通会計)（↗）	人	162	160

市民満足度・重要度



8-5　より便利な行政サービスの構築

【取組内容と成果】

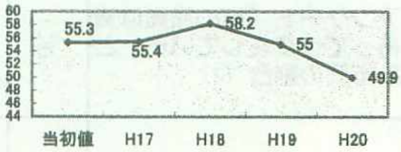
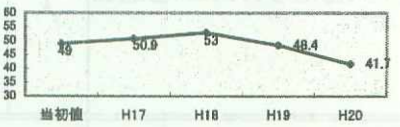
・接遇改善を図るため，窓口利用者アンケートを実施したほか，接遇研修を2回開催した。また，市民登録課では，繁忙期にフロアマネージャーを配置し，窓口での手続きが円滑に行われるように努めた。

・松園連絡所を開設し，自動交付機を設置したほか，取扱業務を拡大し，市民サービスの向上に努めた。

・申請・届出のオンライン化については、目標値の35.0%に対して実績値は8.2%と、目標値を大きく下回っている。

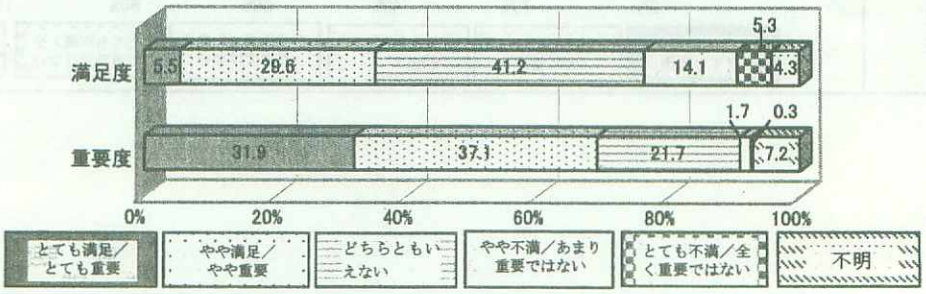
成果水準	やや低い	市の役割	大きい
指標の水準	低い	市民満足度	やや高い

目標値比較	近隣比較	経年比較
概ね達成	中位	低い

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
市民アンケート調査「窓口サービスの接遇が気持ちよく，待ち時間も適切である」（接遇・応対）と答えた市民の割合（↗）	%	50.0	49.9	
市民アンケート調査「窓口サービスが利用しやすく便利である」（制度や仕組み）と答えた市民の割合（↗）	%	42.0	41.7	

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
窓口業務の適正化	市民アンケート調査「窓口サービスの接遇が気持ちよく，待ち時間も適切である（接遇・応対）」と答えた市民の割合（↗）	%	50.0	49.9
	市民アンケート調査「窓口サービスが利用しやすく便利である（制度や仕組み）」と答えた市民の割合（↗）	%	42.0	41.7
電子市役所の構築	Webでダウンロード可能な申請書等の率（↗）	%	62	66
	申請・届出のオンライン化率（↗）	%	35.0	8.2

市民満足度・重要度



8－6　自治の確立を目指す取組みの強化

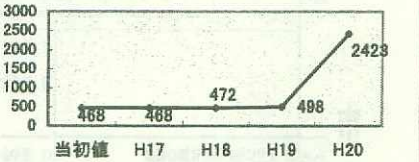
【取組内容と成果】

平成20年度において，中核市移行に伴い新たに県から移譲された事務があることから，権限移譲が進んでいる。平成19年度から3ヵ年で県の制度を活用し，「権限移譲モデル市町村事業」に取り組んでいる。

広域行政の推進については，盛岡広域8市町村による協議を行い，平成20年5月に盛岡広域市町村首長懇談会が設立されており，現在8つの部会において共通課題等について協議を進めている。

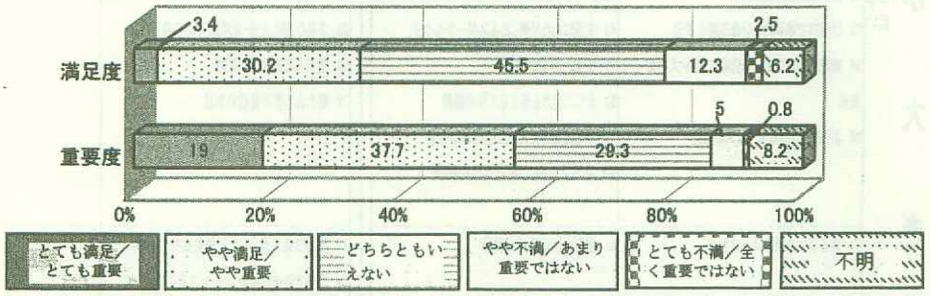
成果水準	やや高い	市の役割	やや大きい
指標の水準	高い	市民満足度	やや低い

目標値比較	近隣比較	経年比較
やや高い	高い	高い

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H20目標	H20実績	
市に移譲された事務数（↗）	%	2,423	2.423	

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H20目標	H20実績
広域行政の充実	市と隣接町村との協力関係数（一部事務組合や協議会等の設置数，共同処理している事務事業数）：※当市関連分（↗）	%	111	110
地方分権の推進	特例市移行による委譲事務数（→）	%	336	－
	県からの委譲事務数（↗）	%	232	232
	中核市移行による移譲事務数（→）	%	1,855	1,855

市民満足度・重要度



3 施策の貢献度評価

施策の貢献度評価は，施策の「成果水準」と「施策の成果向上に市が果たす役割の大きさ」の２点の評価をクロス集計するもので，これにより，市の仕事の成果が現れている分野や市の役割が十分に発揮されていない分野が明らかになります。

成果水準が高い

市の役割が大きい ／ 市の役割が小さい

成果水準	大きい	やや大きい	やや小さい	小さい	成果水準
高い	今までの市の仕事の成果				高い
		45 歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用 76 健全な水環境・良好な水循環の創出	63 地球環境への貢献	国・県・住民・民間の活動の成果	
やや高い	22 火災に強い消防体制の構築 74 うるおいのある公園・街路樹の確保 75 いつでも信頼される上水道事業の推進	11 健やかに暮らせる健康づくりの推進 12 地域をリードする医療体制の確立	23 市民生活を守る安全対策の充実 62 かけがえのない自然との共生		やや高い
		16 みんなで支える子育て支援の展開 44 豊かな心を育む芸術文化活動の支援 86 自治の確立を目指す取組みの強化	54 地域資源をいかした観光・物産の振興	34 快適な情報ネットワークの実現	
標準	15 暮らしを支える制度の充実と自立支援 41 将来を担う次世代の育成 77 にぎわいのある市街地の形成	13 共に歩む障害者福祉の実現 21 自然災害対策の推進 61 生活環境の保全	17 ふれあいが広がる地域福祉の実現 31 元気な地域コミュニティ活動の推進		標準
やや低い	73 快適な居住環境の実現 82 計画的で効率的な行政運営の推進 84 市民の負託に応える組織の構築・人材の育成 85 より便利な行政サービスの構築	42 いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築 43 生涯にわたり楽しめるスポーツ・レクリエーションライフの実現 52 まちに活力を与える工業の振興 78 都市活動を支える交通環境の構築 83 市民とともにつくる行政の実現	32 人権を尊重する地域社会の形成 33 多様な国際交流・地域間交流の推進 51 活力ある農林業の振興 72 魅力ある都市景観の形成		やや低い
	71 適正な土地利用計画の推進	81 健全な財政運営の実現	14 高齢社会に適応した高齢者福祉の充実 53 多様で活発な商業・サービス業の振興		
低い	市の役割が十分に発揮されていない			国・県・住民・民間に働きかけ	低い
			55 安定した雇用の創出と良好な労働環境の促進		
	大きい	やや大きい	やや小さい	小さい	

成果水準が低い

◎施策の貢献度評価結果一覧表（前ページの図を一覧表形式にしたものです）

施策の柱	No.	施　策　名	成果水準	市の役割	成果水準の前年度比較
いきいきとして安心できる暮らし	11	健やかに暮らせる健康づくりの推進	やや高い	やや大きい	→
	12	地域をリードする医療体制の確立	やや高い	やや大きい	→
	13	共に歩む障害者福祉の実現	標準	やや大きい	→
	14	高齢社会に適応した高齢者福祉の充実	やや低い	やや小さい	→
	15	暮らしを支える制度の充実と自立支援	標準	大きい	↑
	16	みんなで支える子育て支援の展開	やや高い	やや大きい	↑
	17	ふれあいが広がる地域福祉の実現	標準	やや小さい	↑
安全な暮らし	21	自然災害対策の推進	標準	やや大きい	↑
	22	火災に強い消防体制の構築	やや高い	大きい	↓
	23	市民生活を守る安全対策の充実	やや高い	やや小さい	↑
心がつながる相互理解	31	元気な地域コミュニティ活動の推進	標準	やや小さい	↓
	32	人権を尊重する地域社会の形成	やや低い	やや小さい	↓
	33	多様な国際交流・地域間交流の推進	やや低い	やや小さい	↓
	34	快適な情報ネットワークの実現	やや高い	小さい	→
共に生き未来を創る教育・文化	41	将来を担う次世代の育成	標準	大きい	→
	42	いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築	やや低い	やや大きい	→
	43	生涯にわたり楽しめるスポーツ・レクリエーションライフの実現	やや低い	やや大きい	→
	44	豊かな心を育む芸術文化活動の支援	やや高い	やや大きい	→
	45	歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用	高い	やや大きい	↑
活力ある産業の振興	51	活力ある農林業の振興	やや低い	やや小さい	→
	52	まちに活力を与える工業の振興	やや低い	やや大きい	→
	53	多様で活発な商業・サービス業の振興	やや低い	やや小さい	→
	54	地域資源をいかした観光・物産の振興	やや高い	やや小さい	→
	55	安定した雇用の創出と良好な労働環境の促進	低い	やや小さい	→
環境との共生	61	生活環境の保全	標準	やや大きい	→
	62	かけがえのない自然との共生	やや高い	やや小さい	→
	63	地球環境への貢献	高い	やや小さい	↑
快適な都市機能	71	適正な土地利用計画の推進	やや低い	大きい	→
	72	魅力ある都市景観の形成	やや低い	やや小さい	→
	73	快適な居住環境の実現	やや低い	大きい	↓
	74	うるおいのある公園・街路樹の確保	やや高い	大きい	↓
	75	いつでも信頼される上水道事業の推進	やや高い	大きい	→
	76	健全な水環境・良好な水循環の創出	高い	やや大きい	→
	77	にぎわいのある市街地の形成	標準	大きい	→
	78	都市活動を支える交通環境の構築	やや低い	やや大きい	→
信頼される質の高い行政	81	健全な財政運営の実現	やや低い	やや大きい	→
	82	計画的で効率的な行政運営の推進	やや低い	大きい	→
	83	市民とともにつくる行政の実現	やや低い	やや大きい	↓
	84	市民の負託に応える組織の構築・人材の育成	やや低い	大きい	→
	85	より便利な行政サービスの構築	やや低い	大きい	→
	86	自治の確立を目指す取組みの強化	やや高い	やや大きい	↑

※　「No.」欄の ☆ 囲みは平成20年度予算重点配分施策

※　「成果水準の前年度比較」欄の↑は前年度より成果の水準が上がった施策，→は同水準の施策，↓は水準が下がった施策

【参考資料：施策達成度評価の手順】

1　「指標の水準」の評価

（手順1）　施策の成果指標の実績値について，次のア，イ，ウのとおり5段階評価を行います。

なお，イ及びウについては，データがないか，指標の性質上，比較が適当と認められない場合には行わないこととします。

ア．目標値比較

高い・・・・・・・目標値を大きく上回った。

目標に対する達成度　　120％以上　　　　3点

やや高い・・・目標値を若干上回った。

目標に対する達成度　　100％以上120％未満　2点

概ね達成・・・概ね目標値のとおりだった。

目標に対する達成度　　80％以上100％未満　　1点

やや低い・・・目標値を若干下回った。

目標に対する達成度　　60％以上80％未満　　0点

低い・・・・・・・目標値を大きく下回った。

目標に対する達成度　　60％未満　　　－1点

イ．近隣比較

高い・・・・・・・近隣他都市と比べて高い水準である。

比較した自治体の中で上位　10％内　　　　3点

やや高い・・・近隣他都市と比べてどちらかと言えば高い水準である。

比較した自治体の中で上位　30％内　　　2点

中位・・・・・・・近隣他都市と比べて中位の水準である。

比較した自治体の中で上位　50％内　　　　1点

やや低い・・・近隣他都市と比べてどちらかと言えば低い水準である。

比較した自治体の中で上位　70％内　　　　0点

低い・・・・・・・近隣他都市と比べて低い水準である。

比較した自治体の中で上位　70％以下　　　－1点

ウ．経年比較

高い・・・・・・・過去4ヵ年の実績と比べて高い水準にある。

過去4年間の最高値以上　　　　　3点

やや高い・・・過去4ヵ年の実績と比べてどちらかと言えば高い水準である。

過去4年間の平均値と最高値の中間値以上最高値未満　2点

中位・・・・・・・過去4ヵ年の実績と比べて中位の水準である。

過去4年間の平均値以上平均値と最高値の中間値未満　1点

やや低い･･･過去４ヵ年の実績と比べてどちらかと言えば低い水準である。

過去４年間の最低値と平均値の中間値以上平均値未満　０点

低い･･･････過去４ヵ年の実績と比べて低い水準である。

過去４年間の最低値と平均値の中間値未満　－１点

（手順２）手順１の結果から，ア，イ，ウの評点の平均を算出し，次の基準により５段階で評価します。

高い（3.0以上）　･･･　５点

やや高い（2.0以上3.0未満）　･･･　４点

標準（1.0以上2.0未満）　･･･　３点

やや低い（0.0以上1.0未満）　･･･　２点

低い（0.0未満）　･･･　１点

※実際の評価作業においては，基本事業についての達成度も加味していますので，単純計算の結果と評価結果が異なっている場合があります。

２　「市民満足度」の評価

（手順１）　市民アンケート調査の結果をもとに，次の算出方法により満足度指数を算出します。

満足度指数　＝｛「満足（２点)」×回答者数+「やや満足（１点)」×回答者数 +「どちらともいえない（０点)」×回答者数+「やや不満（-１点)」×回答者数+「不満（-２点)」×回答者数　｝　÷　有効回答者数

（手順２）　手順１で算出された満足度指数から，次の基準により５段階で評価します。

高い（0.2以上）　･･･　５点

やや高い（0.1以上0.2未満）　･･･　４点

中位（０以上0.1未満）　･･･　３点

やや低い（-0.2以上０未満）　･･･　２点

低い（-0.2未満）　･･･　１点

３　「成果水準」の評価

上記「指標の水準」と「市民満足度」の５段階評価の点数を合算し，次の基準により５段階で評価します。

高い　･･･　９～10点

やや高い　･･･　７～８点

標準　･･･　６点

やや低い　･･･　４～５点

低い　･･･　２～３点

10年後の笑顔のために －行財政構造改革－

行　政　評　価　結　果

問合先　盛岡市市長公室　行財政改革推進課

〒020-8530　盛岡市内丸12番2号

電話　019-626-7553（直通）

電子メール　gyoukaku@city.morioka.iwate.jp

もりおか暮らし物語

MORIOKA BRAND